

第二十四兵團 J・R・ホッチ中將  
 第七步兵師團 A・V・アーノルド少將  
 第二十七步兵師團 G・W・グライナト少將  
 中部太平洋米國陸軍部隊 R・C・リチャードソン中將  
 第九十八步兵師團 A・M・ハーバー少將  
 西部太平洋米國陸軍部隊 W・D・スタイヤート中將  
 極東空軍 G・C・ケネ大將  
 第五空軍 E・U・ホワイトヘッド中將  
 第七空軍 T・D・ホワイト准將  
 第十三空軍 P・B・ワートスマス少將  
 沖繩 伊江島、沖繩  
 沖繩 ハワイ、オアフ島  
 沖繩 ハワイ、オアフ島  
 沖繩 ファイリツピン、ルソン島  
 沖繩  
 サイパン  
 ファイリツピン、レイテ島

米國陸軍戰略空軍部隊戰鬥序列

(一九四五年八月十四日現在)

米國陸軍戰略空軍部隊司令部

マリアナ群島、グアム島

總司令官 カール・スパーツ大將  
 代理司令官 B・M・ガイルス中將  
 參謀長 C・E・ルメー少將

第八空軍 琉球、沖繩  
 總司令官 J・H・ドワリツトル中將  
 第十空軍 マリアナ群島、グアム島  
 總司令官 N・F・トウイニング中將



## 四、占領

### 1. 民政と捕虜の問題

解放地又は占領地において軍事行動を支持するためには、秩序ある民政が維持されねばならぬ。これまでの戦争では米國はこれに就て何等の計畫も用意してなかつた。今次大戦に際しては、敵撃滅に資するためには、解放地及び占領地の全資源を動員するの必要があつた。交通線及び補給機構の確保、怠業防止、防疫、輸入品の減少を防止する産業の復興、一般秩序の維持等あらゆる要素が含まれてゐた。解放國民を現在戦ひつゝある聯合國側に引入れることも重要であつた。

これ等の諸問題を處理する陸軍省の諸政策を樹立する目的を以て、一九四三年三月一日に民間政務部が設置された。共同處理の場合にはこの部は海軍の同種機關や他の民間機關と密接に連絡を保ち、米國の諸政策の決定及び實行に當つた。陸海軍は合同參謀長會議の下に合同民間政務委

員會を設置し、歐洲及び大平洋に於ける民政計畫を擔當させた。共同作戰の場合には、米國の政策は合同聯合軍參謀長會議の統帥下にある聯合民間政務委員會を通じて英國の政策と協調して行くことになつた。

陸軍士官は、ヴァージニア大學に設立された軍政科、又は民間政務訓練所において戰場に於ける軍政と民政活動とを分離する訓練を受けた。これ等の學校の運営は民間政務部によつて準備せられた指令に基いて憲兵司令官が責任者となつた。

佛領北阿では、民政はフランス政府によつて指導せられた。英國政府はチュニス、トリポリ國境の東部領土の民政を支配した。シシリー島においては、英米とも同數の司政官が攻撃軍と共に上陸した。シシリー作戰の後期には、これ等の司政官は戦闘部隊に隨伴して彼等の仕事に必要な町や地域へ這入つて行つた。シシリー作戰の第一段階に於ては軍政は戦闘部隊の指揮官の責任であつて、司政官は戦闘部隊と共に進み、司令官から人民處理の負擔をとり除くことであつた。彼等はシシリー人の協力を得るやうな民政を組織し、部隊指揮官が治安維持のために分遣隊派遣の必要に迫られないやうにした。聯合國占領地軍政部は敵が掃蕩せられるや否や、シシリー島に設置された。同じやうな方法がイタリア本國侵入の當初に於ても行はれた。第十五軍團附の司政官



は第五、第八軍司令官の隷下に置かれ、聯合國軍政移動本部は各軍と共に移動した。

イタリアが降伏し、ドイツの交戦國となつた後は、イタリア政府の活動を監督し、降伏條件の履行を確保するために、聯合國イタリア管理委員會が合同聯合軍參謀長會議によつて設立せられた。地中海戦域聯合國最高司令官がその委員長に任ぜられた。元來、これは米英兩國の武官を以て組織せられた機關であつたが、現在では文官職員の方の急激に多くなりつゝある。そして一九四五年の初めに聯合國はイタリアとの外交關係を復活し、それ以來外交官が民政事項を處理して來た。斯くて、イタリア半島の大部分は聯合國軍政部の管理からイタリア政府の手に引き渡された。

シシリイ及びイタリアにおいて體得した經驗及び實施事項は、その後の作戦において利用された。

公安、保健、補給、農業、その他民政に關する各種部門の専門家が、シシリイ及びイタリア侵入軍に従軍した。軍隊及びその財産の保全、軍使用のための地方資源の保護、公安の維持等は保安官によつて行はれた。彼等は皇室龍騎兵及び他のイタリア人警官を通じて大いに活動した。

非常用人民救濟補給品の食糧、醫藥品、石鹼、石炭等がイタリア戦争前又は遂行中に北阿に集

積されてゐたが、これ等の物資は英國及び米國からの輸送により補給された。一年間に二百萬噸以上の救濟物資がイタリア國內に分配された。然し食糧の不足がイタリアに於ける最もむづかしい國內問題であつた。これはファシスト系の閣取引、非軍需物資に對する船腹不足、或は敵乃至聯合國軍の爆撃のために基く國內輸送機關の半身不隨化等によつて更に複雑化して行つた。然しパンの配給量は一日百二十五グラムより二百グラムに上昇し、最後には三百グラムに達した。

栄養不足、石鹼、水の不足、下水管の破損、黴類の斃死、混雑、避難民等はいづれも傳染病の發生に好條件を提供した。軍隊の醫療關係職員及び聯合國軍政部の公衆衛生専門家の協力、イタリア醫師の指導及び援助によつて、傳染病を防止することが出來た。チブスの發生は鎮壓せられた。傳染病を媒介する鼠や虱の危険性について教えられた。避難民の鼠取りが行はれた。給水、下水施設は復興した。又極めて少數の専門家の活動に依り、我が戦闘員のマラリヤによる莫大な損失を防止することが出來た。

ナチスの壓迫に依る多數の亡命者、主として、ユーゴスラビヤ人がイタリアに逃げて來た。

彼等は聯合國軍隊に依り保護せられて來てゐるが、幾千人かは近東へ避難した。四萬人を一團として收容出來るキャンプが軍の手に依つてアルチリアのヒリップビレーに開かれた。又大體一千



名からの避難民がニューヨーク州オスエゴの假住宅に定住せしめられた。又戦域藝術、史的紀念物の保護と救済はアメリカ委員會の勸告に基き、各々選抜された職員が、地中海及び歐洲の戦線に派遣せられ藝術品、記録の保護、復興等に關して専門的の意見を具申した。

フランス及び西北歐洲の解放諸國において、我が司政官の目的及び活動は、イタリアにおけるものと略同様であつた。然し特殊の事情からその手段を是正する必要もあつた。イタリアにおいては軍政一色のものから、民間人及びイタリア政府をより多く參劃せしめた緩漫なる管理形態へと進展して行つた。歐洲戦線においては、司政官は解放地域における民政の協同管理から突然ドイッにおける全面的軍政に移行させられた。

陸軍省はフランス人民解放委員會を米國軍と同等の地位に置く交渉に協力した。彼等は民政處理に關する規約を起草し、合衆國陸海合同參謀長會議の同意を得て、我が代表アイゼンハウワ―大將とフランス代表コニ―大將の間で調印が行はれた。英軍も亦政府的水準に於て同様の規約を設定した。

これ等の協定に従つてコルシカ島及びフランスの民政はフランスの法律に準據して、フランス

委員會を通じて効力を發することになつた。後にアイゼンハウワ―大將はフランスに於ける最高司令部軍事委員會によつて代表されることになつた。フランス人の民政管理は頗る協力的であつたので、前線地域においてすら、アイゼンハウワ―大將は彼の最高の管理權に訴へる必要がなかつた。この協力事業は非常に順調に運営されたので、一九四四年十月二十四日には早くも國內地域のフランス管理が宣言された。この宣言はフランス假政府があらゆる行政問題の實事上の完全管理を公式に回復することを意味するものであつた。

米英の官吏は交通線の維持と補給品の前線輸送についてフランス將校の援助を得た。又フランス假政府は更にいろ／＼の方法をもつてその戦闘を進めた。秋の雨季の間、戦車が泥濘の中をよく走れるやうにするためには、鴨の嘴型の踏板の増設が必要であつた。同政府は鐵の少いストックのうちから、その六百噸を割いて、四十萬の鴨の嘴を造つた。彼等は春期作戦のために渡河用の襲撃ボートを準備した。一九四五年の二月末には、佛假政府は聯合軍のために二億二千五百萬弗に達する補給品、勞力、設備、輸送その他の施設を提供した。

ノルマンディー侵入に先立つて、ベルギー、ルクセンブルグ、オランダ、ノールウェー等の各國政府はロンドンの聯合國最高司令官幕僚附の軍事使節團を持つてゐた。今や之等の諸國政府は



歐洲大陸に再建せられたのでアイゼンハウワト大將は、最高司令部軍事委員を各國に任命した。アルバニヤ、ギリシヤ及びユーゴスラビヤに於ける、米國の民政處理に關する分擔は救済及び復興方面の活動にのみ制限されてゐる。

「Dの日」(一九四四年六月六日北佛作戦開始の日—譯者註) 以來、米軍當局は英國と協力して歐洲の解放國民のために人民救済物資輸入計畫を實施して來た。救済物資は主として、一定量の食糧品、醫療品、衣類、燃料等であつた。この計畫中米國の分擔は石油を別として、北西ヨーロッパ及び地中海方面の補給で、一九四五年六月三十日までの本年度分の總量は三百九十萬トンである。

民衆のための特別補給品の輸入の他に、軍當局は解放諸國の鐵道、道路、橋梁等の建設、修理、公益事業の再開、港灣施設及び内陸水路の建設、修理等を援助した。陸軍は亦解放諸國政府の石炭採掘、漁業その他軍の活動を増進せしめるための補給乃至は救済物資輸入に要する船舶數を減少せしむるが如き基本工業の復興を助長する努力に對しては助力して來た。石炭を除いた民需品をフランスに供給する軍の責任は一九四五年五月一日に終つた。北西ヨーロッパの解放諸國に——フランスに對する石炭も含めて——民需品を供給する軍の責任は、一九四五年九月一日に

終る豫定である。

米陸軍は極めて多數の俘虜を得たので、この取扱は實に複雑なる問題となつた。歐洲の終戦に際して、我軍はイタリー兵十三萬人、ドイツ兵三百五萬人と、更に無條件降伏後武装解除された獨軍三百萬人を俘虜とした。これ等のうち、ドイツ兵三十七萬人、イタリー兵五萬人は米本國及びハワイに送つたので、その處理は緊急の問題である。陸軍省としては米國內の俘虜を實際的に見通しのつき次第歐洲に送還する方針である。

歐洲聯合作戦に於ける全俘虜は米國と英政府とに二等分された。この、米國が直接責任を持つべき俘虜のほかに我政府は英國から十七萬五千人の捕虜を、出来るだけ早く歸國せしめるといふ諒解の下に引受けることを承知した。

米國は俘虜の勞働力を利用して非常に利益を得た。我國の人力不足の危機は、延六千二百七萬五千八百日に達する俘虜の勞働によつて大に緩和された。我國の國庫には、この勞働に對して民間契約者から支拂はれた金額三千五百九十九萬六千八百弗が納められた。そのほか軍事施設の建設に用ゐられた彼等の勞働力は全額に見積つて一億八百八十二萬五千四百六十九弗に達する。イタ



ローの降伏後、伊軍の俘虜十一萬名がイタリア兵勤務部隊を志願し、聯合軍側の戦争努力に對して非戦闘任務についた。

米大陸内で俘虜を使用する場合には憲兵司令官の指令に基き、米國の民間労働と競争し、或は米人の賃銀や労働條件を低下せしめるが如きことの無いやう注意が拂われた。民間契約者が俘虜を雇ふ前には、戦時人力委員會若くは戦時食糧管理部から、その計畫には民間労働力は不適當であるといふ證明を得なければならなかつた。

我國の俘虜待遇に關する政策はジュネーブ俘虜條約に一致するものであつた。同條約は一九三二年一月十六日、米國により批准され、法律としての効力を有してゐる。同條約の規定に基き敵の俘虜は正常な取扱を受けた。同時に俘虜に對し米國の民主主義制度の力を注入するために再教育計畫が樹てられた。

無條件降伏に先立ち、アイゼンハウワー大將は彼の軍隊の占領地を統轄する軍政部をドイツに樹立した。軍政部支部は戦闘部隊の進撃に續いて前進し、民衆の上に鞏固な支配を確立し、ナチの影響から解放された政治の再建に必要な第一歩を踏み出した。約五百五十萬人の避難民及米俘

虜がドイツにゐた。六月末迄に三百萬人近くが故國へ復員した。戦争犯罪人容疑者と、そのまゝでは占領軍の安全を害する恐れのある人物は收容された。

勝利の進撃の途上において罹災民や俘虜を素晴らしい能率で處理し得たのは、憲兵組織に新理念を與えんとする熱心な努力の成果であつた。前大戦の経験により、吾々は高度の訓練を受けた憲兵は軍の作戦に實に大きな貢獻を爲し得ることを知つた。それ以前には、憲兵は單に軍隊の服従すべき軍紀規定の履行に使用せられてゐたに過ぎなかつたのである。第一次大戦の経験を參酌して世界大戦の作戦を慎重に研究した結果、開戦前及び開戦中軍の輸送管理を有効ならしめるために憲兵を利用する考へが生れたのである。憲兵總司令官はこの目的のため特殊訓練學校を創設し、なるべく古參兵を選抜して訓練を受けさせた。この努力の成果はフランス突破進撃に顯著に示された。この進撃はノルマンディーに陸揚げされた部隊及び軍需品の前線輸送如何が重大な影響を及ぼしたのであつた。後に獨軍の抵抗が崩壊した時、前戦に殺到する戦闘部隊、軍需品乃至は反對の方向に向つて落伍して行く俘虜や避難民等の往來で全く混亂状態に陥つてゐた交通を、憲兵は奇蹟的に見事に處理した。

五月八日、ドイツ武装軍隊の無條件降伏と共にアイゼンハウワー大將の責任地域全般に亘つて





第13圖 歐洲占領地域分布圖

鞏固な軍政部が樹立された。歐洲諮問委員會の四ヶ國によつて協定された各國の占領地帯へ軍隊の進駐が開始された。六月五日、アイゼンハウワー大將はモントゴメリー元帥、ズーコフ元帥、ドウリットル大將等とベルリンに會同し、四ヶ國政府がドイツにおいて最高の權力を持つ旨の宣言書に合衆國を代表して署名した。歐洲諮問委員會の四ヶ國議定書に従つてドイツ管理委員會が設けられた。六月末に、アイゼンハウワー大將のドイツ軍政部聯合軍最高指揮官としての責任は解消し、米國ドイツ占領軍最高司令官として米國占領地帯の軍政府に對してのみ責任を持つことになつた。米軍の占領地帯はババリア、ヴェルテンブルグ、ヘッセ、ヘッセ・ナッサウ、バーデンの北部、ベルリンの一部、ブレーメン及びブレーメルハーヘンの兩港等を含んでゐる。ルシアス・W・グレイ中將は、米國占領地帯の軍政部次席であり同時に管理委員會の調整委員會ではアイゼンハウワー大將の代理である。彼は特に選抜された民間及び軍の専門家によつて補佐された。

對獨作戰の終了する頃、オーストリアに聯合軍々政部が樹立された。オーストリア問題の處理について特別訓練を受けた將兵は作戰部隊と共に米、英、佛軍の占領した各地に入り、あらゆる民政を管理した。オーストリアの軍政部は實質上ドイツのそれとは異なる。ドイツのナチ色並びに軍國主義拂拭計畫はオーストリアに擴大されつゝあるが、聯合國は自由と獨立のオーストリア建



設のために努力を続けるであらう。聯合軍のオーストリア管理は、ソ、英、佛、米の四ヶ國管理部を通じて行はれてをり、各國は各自の占領地帯に對して責任を持つことになつてゐる。オーストリアに於ける米英兩軍の合同司令部は解消した。オーストリア全體に關する諸問題はウイennaに在る四ヶ國司令官によつて處理される。クラーク大將はオーストリアの米軍總司令官に任ぜられ、又その資格でオーストリア聯合國行政部の政治部に米代表として參加する筈である。オーストリアは歐洲戰域の一部となつたけれども、クラーク大將はオーストリア聯合國行政部米國代表として米國合同參謀長會議に直接責任を有する。

フィリッピン共和政府と不屈の忠誠心に燃える地方官吏とが、米軍の第一回の上陸の時に直に政治を再編成して整然とした政府を再建し得なかつたら、フィリッピンの解放は更に多數の民政問題が生じたことであらう。共和政府との協定によりフィリッピン戰の全期間を通じて民政問題に關する軍の責任は民衆のための所要非常救済に關する條項に制限されてゐることが相互に理解されてゐた。一九四四年十一月から一九四五年七月までに軍の機關を通じて十四萬トンの民需救済物資がフィリッピンに輸送された。

多數の日本人を統治するため軍政府の樹立を必要とした最初の大事な仕事は沖繩であつた。この日

本々土に對する政策實驗場で陸軍の軍政部職員は海軍の職員と共に貴重な體驗を得た。

日本の降伏に續いて、マッカーサー元帥を最高指揮官とする聯合軍は日本の四大島嶼の戰略地點を占領した。

この降伏の重要條項は、降伏の瞬間から天皇及び日本政府は最高指揮官の絕對權力下に置かれることを聯合國が明らかに宣言した事である。現在のところイタリヤやドイツの如き軍政部は設けられてゐない。降伏書に示されてゐるやうに、聯合國の意志は天皇及び日本政府機關を通じて日本人に課せられつゝある。



## 五、米軍の武器に就て

米國及び英國の未準備の爲めに樞軸國は當初資材の點で非常に有利であつた。日本の對支作戦、イタリーのエチオピア戦、スペイン内亂への獨伊の參加等によつて、吾々の敵はその新兵器を戰場で實驗する機會を得た。これは極めて重要な事柄であつて、これにより樞軸國は兵器の生産量決定の基礎を得たのである。然し吾々は資源を動員する時間的餘裕を持つてゐたので、米國の尤大な卓越した工業施設は遂に敵の緒戦當初に於ける優勢を壓倒したのである。

過去二年間、米國陸軍は充分の武器と充分な裝備を持つてゐた。この事實が吾々をして戰略的に劣勢な兵力を以て世界到る所に作戦を敢行せしめて來た所以である。空軍、海軍及び機動力、火力に於て優つてゐたからこそ、吾々は攻撃した地點に於て常に戰術的優勢を獲得出來たのであり、吾々に對抗せんとして敵が兵力を増強することを妨げ得たのである。

聯合軍がフランス上陸後ドイツ國境に到達するまで歐洲の獨軍は數的には攻撃軍を凌駕してゐた。マッカーサー元帥は、日本守備軍よりも寡兵をもつてフィリッピン攻略を遂行した。戰場に於ける日本軍の兵力は遙かに我方を凌いでゐた。他の如何なる基準も我が兵器の質量的優秀性をより充分に判定し得るものではなかつた。然し日獨とも特殊兵器の發達の點で我に優つてゐる例は多少あつたが、吾々の優秀性が、全體として又決定的であつたことは眞に注目し得る。

戰爭に關する他の凡ゆる工業上の進歩を壓倒したものは聯合國側の原子爆彈の發達である。この恐るべき兵器の持つ莫大なる軍事的利益は、幸運と、正しい管理と、絶大な努力の結合の結果吾々に齎されたのである。原子力の利用は米國人の將來に自信を與へるに違ひないが、過信の犠牲とならぬやうに充分戒めねばならぬ。この恐るべき發明は、何時までも吾々の專有物ではあり得ない。吾々は、兩大戰間の平和時代にドイツの軍事的使用目的のための機械の研究が遙かに吾を凌駕するまで放置しておいた。その結果、平和時代の研究に基く長距離ロケットと無操縦者航空機とにおいて、ドイツは吾々よりも遙かに進歩してゐた。吾々は戦争が始つてから初めて熱心に研究を開始したのである。吾々が、吾々よりも先に原子爆彈の研究を始めたドイツを追ひ越したのは愉快な事であるが、満足の餘り再び不精に陥ることがあつてはならぬ。



航空機と船舶の進歩に就いては、米國の工場と生産知識は聯合軍に間もなく量、質的に獨、日より利益を與へた。歐洲と太平洋の彼方とで大規模な航空戦が始つた頃には、米軍機は數に於ても型に於ても敵を凌駕してゐた。B 29によつて代表される長距離爆撃機の進歩に及ぶものはなかつた。戦闘機についても、米國の長距離戦闘機の斯かる發達を豫知しなかつたことをドイツ自身が認めてゐる。戦闘機に噴射エンジンを初めて取入れたのはドイツ人であるが、これはその方面の進歩が米國で遅れてゐたといふ譯ではない。ドイツの噴射式戦闘機が飛行出来る程度にまで進歩した頃には、その作戦的テストをする地域は、米軍の戦闘機に荒されてしまつてゐた。獨軍は、それを實戦でテストするか、或は全然テストしないかのいづれかにしなければならなかつた。ドイツの噴射式戦闘機の最大飛行時間は一時間強であつたが、米國のそれは、サンフランシスコからニューヨークまで一氣に飛ぶ能力に達してゐた。

獨軍の重戦車の優れてゐることも注目に値する。一九四三年の夏から一九四五年の春までは獨軍のタイガー(虎)戦車とパンサー(黒豹)戦車とは、直接戦闘では我がシャーマン戦車に優つてゐた。これは主として吾々とドイツの装甲戦闘に關する考へ方の相違によるものである。吾々

の戰場へ到達する道程が、敵とは根本的に違つてゐることに據るのである。吾が戦車は海上數千哩を輸送され、機動的に敵地へ上陸せねばならなかつた。吾々が敵を攻撃する時は、常に敵の後方にある橋梁を爆撃破壊したため、無數の河を假橋によつて渡らなければならなかつた。我が飛行機が破壊しない橋梁は、敵が退却しながら破壊した。故に吾々は重戦車を使用することが出来なかつた。吾々は戦車をば開發の武器として設計した。換言すれば、吾々は戦車をズツと敵の背後深く突入せしめ敵の補給施設及び交通通信を破壊するために使用せんとしたのであつた。これには大なる持久力——ガソリンの低率消耗と、故障を起さずに長距離を行動する能力とが必要であつた。

然し戦車のかゝる用法は最も有利なものではあるが、時には防備の充實した膠着戦線の戦闘において戦車戦を回避することは出来なかつた。この場合、米軍の中戦車は、獨軍重戦車に正面から立ち向つては不利であつた。一九四四年の早春頃、米國は重戦車の大量生産を決定した。この重戦車については米國の兵器専門家が戦前から不斷の實驗を重ねてゐたものである。その結果M 26 (パーシング) 戦車が昨冬から戦線に到着し初めた。これは直接戦闘でも獨軍戦車に劣らず、その上軽いこと(四十三トン)、速度の大なること、行進距離の大なること等において非常に有利



であつた。その頃、二つの新型戦車——T 29とT 30とが設計されてゐた。その重量は六十四トンで、前者は百五ミリ高速砲、後者は百五十五ミリ砲を有するものであつた。

北アフリカ及びニューギニアのパプアの激戦の結果、平和時代の我が武器の無準備と研究の不足は極端な方法を講じて取返さねばならぬことが明かにされた。依つて余は一九四三年の晩春、兵器専門將校ウィリアム・A・ポードン大佐を選拔し、普通の陸軍省の機關とは別に、獨立して余の下で勤務し、兵器の進歩と改良及び技術の向上を計るやうに命じた。彼は先づ日本軍とのジャングル戦に使用する兵器の威力を増大すべく努力した。その結果、百五ミリ及び百五十五ミリ迫撃砲、火焰發射器、地上ロケット、改良發射裝置、重砲を泥中で牽くための滑材、改良バズーカ彈藥、着色煙手榴彈等が發達し、その生産と戰場への輸送は大いに促進された。

後に陸軍長官は、陸軍省に特別職員より成る一部を設けることを決定した。この部の任務は戰場で得た軍隊の經驗を國家の發達せる科學力によつて調整し、戰爭遂行のための、より新しくより強力な手段獲得の競争において米國を遅れざらしめんとするものである。この新發案部は一九四三年十月、ステファン・G・ヘンリー少將によつて組織せられた。將校達は戦地へ送られ、民間の科學知識を野戦上の問題に應用する方法を調査するため軍隊の戦闘を視察した。やがて彼等は

歸任するや、適當なる陸軍勤務隊を使つて新型兵器裝備の實驗調整を促進した。或る事物が發展したときは、これを戰場で試験し、若し結果が良ければ製作にかゝつた。火焰戦車、空中ロケット、改良地上ロケット、自走重砲及び敵の迫撃砲その他の砲の位置標定に用ゆるエレクトロン裝置等はその例である。

上記のほか、新發案部は敵の新兵器、特にV一號の發射位置及びその補給路爆撃のための豫定目標に關する研究並びに情報の判定を行つた。V一號の位置に對する我軍の空中攻撃は非常にその効果を妨害したので、吾々のフランス侵入に際してそれは何等脅威とはならなかつた。

一九四四年八月、ヘンリー少將が陸軍省參謀人事部長として轉任するや、ポードン准將がその後を襲つた。この時から、誘導彈、重戦車、無反動砲、レーダー、夜間暗視裝置等の研究に特に力が注がれ、改良された多數の新型兵器又は考案品の製作と海外輸送が一段と促進された。

多くの點で我が戦闘被服は、いづれの國の軍人に支給されてゐるものにも劣らぬ良質のものであつた。被服はすべて保護力に富み動作が自由に出来るやうに作られてある。ゴム底で、厚いスキー靴下に、内側にフェルトのついた先靴の靴（ユーバック）は、寒冷地や非常に湿度の多い



氣候の中で戦闘する兵士が、重いトレンチフット(譯者註「水中に長時間立つてゐると同される脚氣」)に罹るのを防ぐことが出来た。兵士が戦闘の場合に辛抱せねばならぬ、露出を樂にするやうな衣服は未だ嘗つて發明されたことがない。この露出から生ずる大規模の死傷者を喰止めるために、被服の保護力を充分にする事のみが可能であつた。吾々はこれを歐洲においても、東洋の戦場においても解決したのである。唯、被服の問題について一番面倒なことは、兵士の亂暴な被服の使用や支給した衣服や備品の誤用の取締りであつた。

米陸軍は、確かに史上に嘗て見ない良好な食糧を與へられた。然しながら戦闘中における食糧の補充は、どうしても守備隊や宿營の場合のやうにはゆかぬ。又家庭における場合とも大いに異なるのである。野戦食糧は腐敗せず、ぎつしり詰つた、兵士の携行に便利なものでなければならぬ。美味な食糧給與の問題は、數世紀來軍隊を悩まして來た。今次大戦中の米陸軍の野戦食糧の進歩は全く革命的なものであつた。戦闘食糧 C 及び K は、二、三年前の戦闘兵の夢想だにしなかつた多種類のものを含んでゐる。いろ／＼の面白い批評的になつてゐる。C 食糧は、十種の肉の組合せ料理である。肉と豆、肉と野菜シチュエ、肉とスパゲチー(譯者註「マカロニの一種」)、ハムと卵と馬鈴薯、肉とヌードル(譯者註「小麥粉と卵の捏り粉で作つた小片」)、肉と飯、フラ、ク

フアーター(譯者註「ソーセージの一種」)と豆、豚肉と豆、ハムとリマ豆、鶏肉と野菜等である。これ等は、激しい砲火の下でも兵士達にそのまま役に立つものである。食事の準備をする時間の餘裕がある場合には、兵士達は十種包を支給された。これは野菜と果物の罐詰、デザート罐詰、チョコレートその他の菓子、ローストビーフ、ローストポーク、その他の肉入料理、罐入ハムバージャーとさへも含んでゐた。野戦軍が戦闘を休んでゐる時には、B 食糧が支給された。これは、環境を考慮して多種類の食物を集めたものである。B 食糧が支給されるやうな環境では食糧を冷凍し保存する設備は先づ無いのが普通であるから、B 食糧は野菜、肉、果物等の罐詰及び乾燥馬鈴薯や卵から成つてゐる。これ等は米國の家庭で普通に用ゐられる新鮮な卵、肉、野菜等には及ばぬが、それでも從來の野戦食に比べると大きな進歩を示してゐる。食糧を速かに輸送しこれを冷凍して保存することの出来る後方では、A 食糧が支給された。これは、多人數に給與するものとしては最上のものである。斯くの如き米軍の食糧に比べて、日本兵のそれは一日一・五ポンドの米と、少量の肉と魚とであつた。然しながら日本兵は、家庭においてこれに近い食事に馴れてゐるので、これだけの食糧で十分足りたのであつた。



北阿、イタリー、フランス、ドイツ等で経験したやうな、敵の兵力を破推し、その抵抗を停止せしめるための大規模な地上戦において、最後の勝敗を決する重要な要素の一つは、歩兵師團の装備と、これを活用する方法とである。ドイツのやうな戦争の経験を有する國家は、資力を集中して強力な軍隊をつくり、戦争の始まる前、既にあらゆる點において先制の利を持つてゐたのであるから、多くの重要な歩兵武器が吾々より遙かに進歩してゐたのは蓋し當然である。

二つの重要な事柄について、獨軍は殆んど戦争が終るまで有利であつた。第一は米軍が北阿で最初に遭遇した「三脊」<sup>トワッラスレット</sup>八十八耗砲である。その頃、米軍も亦これに類似した兵器即ち更に大なる貫徹力を有する九十耗砲を持つてゐたが、獨軍はこれを戦場で多數使用し、尙、それまでの數年間の戦闘から案出した袋をつけてゐた。米軍は當時九十耗砲を大量には持つてゐなかつたので、この兵器の證明された命數を無視してその不足を補ふより仕方がなかつた。

斯くて獨軍の八十八耗砲は、その數量と技術において戦争の末期まで我が九十耗砲を凌駕する強力な武器であつた。スペイン内亂では、獨軍は對戰車及び對歩兵用としてその八十八耗砲の性能を慎重に秘匿し、たゞ高射砲としてのみ發表してゐた。吾々が初めてこれに遭遇したとき、これは對戰車、對歩兵、對空の兵器として強烈な威力を發揮してゐた。一門の八十八耗砲が、我が戰

車に徹甲彈を數發發射したかと思ふと、忽ち戰車に跟随する歩兵に向つてすさまじい榴散彈を浴びせて來た。同じ砲が數分後には地上作戦の直協飛行機に對空砲火を打ち上げてゐた。我が九十耗砲はそれ程自在にはならなかつた。効果的な對戰車砲撃のために充分砲口を下げる事が出来なかつた。操作技術も必要に應じて彈藥を取り換へ得る程に發達してゐなかつた。又砲數においても獨軍に及ばなかつた。

歐洲の戦争中獨軍の第一の顯著な強味は火藥であつた。獨軍の彈藥は無煙無火の火藥が充填されてゐたので、戦闘中晝夜を通じて、射撃位置を秘匿する上に非常に役立つた。米軍の小銃手、機關銃手、砲手は、銃砲口の發火、火藥の煙のためにその位置を暴露してしまはねばならなかつた。用意周到な獨軍は、豫めこの高級火藥を發達せしめ、これを多量に生産する時間を持つてゐた。彼等は現場にそれを持つて居り、現實にそれを使用した。これ等の事實は、第一次世界大戦後、爆藥の製造及び科學の研究に對して採つた吾々の態度と關聯して考へらるべきである。彼の大商業製造業者達に「殺戮の商人」といふ嚴しい攻撃を加へてゐなかつたならば、彼等の工場内でその製造や研究が行はれてゐたに違ひなかつたのである。

慎重な計畫、陸軍の乏しい平和資材の節約、米國の機械經濟の性格は歐洲の米軍に獨軍を凌駕



する二つの好条件を興へた。その一つは、ガランド半自動小銃で、これはドイツが如何にしても模倣することの出来ぬものであつた。ガランド及びこれに伴つて造られた多數の火器が完成するまでの計畫や決定の跡をたどつてみると、實に興味深く、特に陸軍省のガランド採用案が激しい反對に遭つてゐること等には注目されるのである。

小銃小隊の火力の基礎となるものは自動火器である。小銃手は自動火器によつて形成された枠の中へ火力を集中する。今次大戦において最初米軍の小銃分隊の火力の基礎をなしたのはブローニング自動小銃であつた。戦争前、陸軍は數十萬のブローニング自動小銃を戦争に備へて保有してゐたのであつた。戦争の進展に伴ひ他の小型自動火器をこれと取換へた方が良いといふことになつたが、もしこの際、ストックしてある舊型自動小銃を取換へる工場設備が整つてゐたなら、吾々はその工場に詰めかけたことだらうが、實際はその設備がなかつた。あ、ブローニング自動小銃を制限し、ガランド半自動小銃の製産に全力を注ぐことになつたのであつた。

一方、ドイツ軍は小銃分隊の自動火器を、戦争の直前に完成した新型の輕機關銃と取換へた。彼等の標準小銃は、戦争の終り頃になつても尙積桿作用によるものであつた。彼等も既に數種の

半自動小銃を製作してゐたけれども、何れも思はしくなく、戰場へ到着した數も少かつた。獨軍は歩兵火力の改善に努力して、機關短銃の大量生産で吾々を凌駕した。米軍は、歐洲戦争の末期近くまで、戰場でそれ程多量に機關短銃は持つてゐなかつた。然し半自動小銃のお蔭で吾々の歩兵火力の優位は決して敵に劣るものではなかつた。

今までの戦闘中、米軍が地上において最も利益を得たのは、複式動力運轉装置、就中ジープと二・五噸トラックとである。米軍は戦闘中これ等の兵器により移動し、補給したのであるが、獨軍は機甲軍といふ恐ろしい評判にも拘らず、戦争の初期には正規歩兵師團は動物の輸送力に依ること大であつた。米國は自動車工業の大量生産力を利用して、全部隊輸送をトラック化し、尙も英軍及び赤軍に多量の自動車輜を補給する餘力を有してゐた。

我がノルマンディー上陸以前は、自動車輸送の利益は、さほど顯著に知られてゐなかつた。チユニジアや、イタリーの山嶽地帯ではトラックは不便であつた。然し一度フランスに上陸するや我が機動力は完全に敵を壓倒した。ドイツ人が、彼等の主義の誤謬に氣がついた時は既に遅かつた。つまり一九三〇年の末期にベルリンで獨軍參謀の一人がウエデマイヤー大將に、「トラックは戰場では使ひ道が無い」と説明したものである。その參謀に依れば、無装甲車輛は直接交戦地



帯に持込んだのでは破壊され易いといふ事を言はんとしたのであつた。

特に強力な兵器や、注目を惹くやうな設備が敵軍側に出現する度に、米國民衆の間に活潑な議論を招來した。特に不完全に對する豫想された失敗に就いての批判によつて刺戟された場合は尙更である。このやうな事件は陸軍省にとつては極めて困難な問題であつた。就中、戦闘員の志氣に關することは最も重大なことである。自己の兵器或は上官の指令に對する彼等の信頼を覆すことは、敵の不斷に熱望する所である。米兵達は非常に活潑な想像力を持つてゐるので、通常少くともその當座は、何か新しいものを欲しがり、敵の新兵器の性能を誇張して考へ勝ちである。蓋しこれは、或る兵器の攻撃を受けつゝある者は、それを操つてゐる側の者よりもその威力を大きく感ずる故である。若し刺戟が不充分であると、その反動は我軍の勝利に重大なる影響を與へるものである。指揮官はその部下に對して、現在持つてゐる兵器の、より良く、より効果的な使用法を教へることを常に心懸けねばならぬ。兵器は、兵器自體の性能よりも、それを操縦する手腕の方がその威力を發揮する事が多い。この事實は、米軍の中戦車の正しい、計畫的な戰術的使用法によつて説明されてゐる。

第二に、敵のどの兵器が最も吾々を憐れましてゐるかを敵に知らせることは、敵を利する所以である。同じく或る特殊兵器乃至は一般的軍備に就いて明かにされた弱點を最も正確に訂正しつゝ、ある手段に關して敵に知らせたくないといふ苦勞がある。例へば、味方の機關銃が一、二發發射の後又は高空射撃において詰り易いことが判つた場合、この重大な情報を敵に知らせはしない。又改良された兵器が出現乃至實際に配置されてゐる最中にこれを前以て敵に知らせ、敵への奇襲を無駄にしまふことはないだらう。

兵器に關する一般の論議のあるものは兵器省がもつと優秀な武器を作らないのを責めたものがある。然し兵器省は、製作を命ぜられたものは素晴らしい能率で完成してゐる。それ等の指令は、余が責任を持つてゐる參謀部から下つたもので、戦闘部隊や空軍の將校又は野戰指揮官の意見等を傳達してゐるものである。

その他の機關銃、迫撃砲、砲、個人裝備等の歩兵師團の武器や裝備においては米、獨は殆んど甲乙が無く、著るしい差は認められなかつた。獨軍の歩兵ロケット砲、徹甲對戰車砲は、先に完成した米軍のバズーカよりも勝れた命中力を有してゐた。吾々は、我が重砲火力の集中使用法は獨軍の技術よりも遙かに効果的であり、日本軍をば完全に壓倒し去つたと信じてゐる。百五耗以



上の重砲は概して獨軍のものと似たり寄つたりであつたが、我軍のこれが使用法は、世界各地の戦線を通じて、我が地上戦闘の勝利を決定的ならしめる要素の一つであつた。

航空兵器の分野においては、米軍の資材は優秀なものであつた。航空機用五十耗機関砲は最も信頼し得る兵器であつた。その最新式のもの、一分間千二百發の廻轉率を持つてゐる。獨軍の航空機用三十耗加農砲に對して米軍は三十七耗加農砲をつくつた。米國の最新式のもの、三千呎の秒速を有する。日本軍は、専ら舊式の三十七耗砲を使用した。米軍航空機の或種のものに裝備されてゐる七十五耗加農砲は、世界の空軍が未だ使用したことのない強大なものである。

米國の爆彈、最新式の信管、これを目標に導く調整装置等は比類の無いものであつた。トラック、土壤運搬機、鐵道及び車輛、架橋材料等その他同種類のもは戦闘に使用されて著るしい成功を収めた。

米英兩國によつて發達せしめられたレーダーは、獨、日何れのエレクトロン装置よりも優秀なものであつた。例へば米國の、飛行中の航空機に追隨し、これに對空砲火を指向せしめるレーダーは、敵の有するその種の兵器の何れよりも正確であつた。米軍のレーダー探知機は、獨軍のそ

れよりも廣範圍にわたつて、空中の航空機或は海上の艦船を捕捉する能力があつた。日本のレーダーは甚しく劣つてゐた。

米英兩國とも、航空機に裝備するレーダーには大に力を注いだ。この装置は、潜水艦の活動を制壓する上に非常に役立つた。陸軍省のレーダーに關する計畫に對しては、陸軍長官自ら嚴重な監督を行つた。レーダー爆撃照準機は、無線航測機と相俟つて、不利な天候をも克服して獨軍及び日本軍の目標に對し正確な爆撃を爲さしめた。

上陸用戦闘舟艇の分野においても、米英兩國は非常な進歩を遂げた。これは今次大戦中の主要戦闘において、吾々は海を渡つて敵陣地を攻撃しなければならなかつたことに依るのである。彼の急傾斜した舳を有する上陸用大型舟艇に比肩し得べきものは勿論、類似したものさへ他の國々には有して居なかつた。北阿戦から沖繩戦に至る間、常に我が軍の上陸を授けた幾十種の上陸用舟艇亦然り。これ等の特殊舟艇の發達に先鞭をつけたのは、ルイス・マウントバットン卿と、その率ゐる特別ブリティッシュ・コマンド部隊の參謀とであつた。

我國の工業力は、米軍に優秀な裝備を提供したばかりでなく、他の聯合側諸國の戦力にも大きな貢獻を爲した。米國が聯合諸國に提供した貸與物資は二百億を超えた。米軍の一機甲師團に完



全裝備を與へるには三千四百萬弗を要し、一步兵師團の場合は一千萬弗を要する。この割で計算すると、米國から聯合國に引渡された武器のみの弗價格を以てしても、五百八十八の機甲師團或は二千の歩兵師團に裝備を與へた譯である。

英國向けの莫大な航空機の總數は、西ヨーロッパの「Dの日」(ノルマンディー上陸の日)に出動した我が第九航空軍の四倍にあたる。當時第九航空軍は世界最大の航空部隊であつた。米國の原料によつて英國の軍需品中の相當量が生産された。その上、最近二年間に英國に輸送された完成品中には、七萬六千七百五十七臺のジープ、九萬八千二百七臺のトラック、一萬二千四百三十一臺の戦車及び一千五十一門の重砲が含まれてゐるのである。

ソ聯も亦自國の工場のための數千トンの米國原料及び完成品を輸入してゐる。この報告に含まれる二年間に、米國はソ聯に向けて、二萬八千三百五十六臺のジープ、二十一萬八千八百八十八臺のトラック、四千七百七十七臺の戦車及び二百五十二門の重砲を輸出した。大赤軍の機動力と補給力とは、米國の機關車、レール、車輛等により更に増大せしめられたのであつた。我が第九航空軍の二倍に當る航空機もソ聯に送られた。

ドイツが降伏した頃、活動してゐた再建フランス陸軍は十二箇の完全裝備師團で、その裝備の殆んど全部は米國に仰いでゐた。この軍隊の作戰に協力した佛軍戰術航空部隊も亦米國の裝備によつてゐた。

支那に對する援助は、ヒマラヤ越えの高度と嵐とのため制限を受けた。スチルウェル公路の開通に主要な役割を果した中國師團とその支援部隊とは、米式の訓練を受け米式の裝備を有するものであつた。日本軍の、重慶及び昆明に向つての進撃をうまく喰止めた支那軍も若干の米式裝備を有するものであつた。支那に對する援助額は今や五億弗を超えてゐるが、この他に物資を支那へ輸送するために印度やビルマで使用した戰爭資材、航空機、各種施設等も莫大な數に上つてゐる。

兵器、資材等を貸與した代りに、世界各地で戦つてゐる米軍は、聯合諸國から所謂見返り貸與として充分な援助を受けた。一九四四年の末までに、その額は四十億弗に達した。内容は主として宿泊設備、根據地の施設、食糧品等である。歐洲上陸の準備中、英本國で待機してゐた米軍は米國から輸送船二隻が英國に到着する度に英國船一隻分の裝備品、食料及び資材を受取つたこととなる。



英國駐屯米軍の食糧について言へば、主として英國内で作られた新鮮果實及び野菜、英領各地より輸入された茶、ココアその他の産物等總計約四億三千六百萬ポンドの援助を受けた。太平洋及びアジアの米軍に對する食糧はオーストラリヤが十八億三千五百萬ポンド、ニュージーランドが八億ポンド、印度が五億二千四百萬ポンドを提供した。オーストラリヤ、ニュージーランド及び印度に米軍の根據地を建設するに當つては、米國の貸與に對する返禮として、非常な援助を受けたのである。ペルシャ灣のアバダンに在る英國の精鍊所から、米軍は二億五千九百萬ガロンの航空燃料の補給を受けた。

## 六、部 隊

### 1. 兵員に就て

今次大戰における動員の過程は、ドイツ降伏の前後において最高潮に達し、直ちに下降し初めた。一九四三年の夏、有効兵力七百七十萬人の大陸軍を建設することに決定した。該數こそ我が戰略遂行に即應するための所要兵力と信じられたのであつた。

歐洲の戦争が終つたとき、陸軍の作戰兵力は、戦闘不能者を併せて八百三十萬人であつた。戦闘不能者は入院患者——積極的な任務にも限られた業務にも不適となつて除隊されることになつてゐる十萬人を含む——五十萬人と、交代兵として海外輸送の途中にある者十萬人、合計六十萬人である。

今春になつて、歐洲戰の勝利が目睫に迫つて來た時、六百九十六萬八千人に達する新兵力は、太平洋方面作戰の要求に基いて定められたものである。それ故に最も除隊される資格のある者を



直ちに復員させる事も出来るやうになつた。

今次大戦に於ける米國の人員動員技術は獨得のものであつた。この戦争の特殊な性質は多くの新しい要素を生み出した。聯合國各國の齎らす利益よりも米國の工業能力の齎らす利益の方が遙かに大きかつた。故に、陸海軍の兵力要請が緊喫である場合でも、國家の勞働力を過度に割かないことは必要であつた。吾々自身も聯合國國民も共に武装するといふ問題もあつたが、同時に戦争完全遂行のためには龐大な軍隊を編成した。その上、我が輸送線は世界中に擴大し、多數の部隊がこれに従事し、更に多數の人員が軍事的事業に對して利潤を求めずして數千哩の地を往復輸送に當らねばならなかつた。

大洋戦では、軍隊の輸送維持、聯合國に對する軍需品の輸送のため、強力な海軍と多數の輸送船が必要であつた。同時に、最少限の人命の損害で勝利を獲得するため、あらゆる科學と技術の利用も吾々の意志であつた。斯かる多角的な努力は、莫大な數の男子及び女子を要請し、従つて各計畫に對しては最も大切な時機に、最も大切な仕事を、適正な人數で處理して行けるやうにするため、周到なる注意を拂つた人員の配置の必要があつた。これをたゞ單に述べ立てただけでは、各工業の特殊的要求や、各戰區司令官の要請に應ずる場合の絶大なる困難を指摘することは

出来ない。この紛糾する要求を解決することは戦時のデモクラシーには最も困難な問題を提供するものである。

戰闘勤務に適する身體を有する米人男子の絶對最高數は、千五百萬乃至千六百萬と推定されてゐた。高度の優先權は、先づ海軍及び輸送計畫の要求に與へられねばならなかつた。陸軍は人員の限度を七百七十萬人と決定した。敵を攻撃する前に先づ輸送線を確保し、訓練及び勤務施設を準備する必要がある。陸軍の總兵力中、勤務隊は最少限百七十五萬一千人を要した。最初の第一撃は航空機によるべしといふ決定が先づ行はれたが、又味方機の空中からの攻撃が熾烈且つ効果的であればそれだけ早く敵の抵抗力は破摧されるであらうといふ豫想がついた。こゝに於いて、空軍はその兵力を二百三十四萬人に強化することを認可せられ、又、軍の人的資源から體格、教育、技術ともに最優秀の人員を採用する第一位の優先權を與へられた。

の作戰地域でも、陸軍、空軍及び勤務施設とも、配當以上の人員を要求してゐた。全世界の戰域司令部及び主要指揮機關に直接配屬さるべき部隊は、四十二萬三千名の兵力が許容されてゐた。

斯くて、七百七十萬人の有効兵力中、地上軍としては最大限三百十八萬六千人が残された。然



し吾々が戦争を初めた時には、勝利のためには如何程の地上部隊が必要であるか、未だ正確に判定することが出来なかつた。近代航空戦によつて獲得さるべき正確なる成果も教へられた推定の範圍にとゞまるのみであつた。

敵と最も近似した條件で戦はねばならぬ地上戦においては砲火と罹病のために尨大なる損害を生ずるであらうといふことは判つてゐた。吾々は敵が吾々に振り向け得る地上軍の數と質とを正確に見積らなければならなかつた。又、聯合國側が戦闘に提供し得る兵力を、妥當且つ正確に見積る必要があつた。一九四一年十二月七日からスターリングラード及びエルアラメインの戦の後までは、東歐と北亞における伯仲せる地上戦の結果が如何なるものであるか、全く豫想出来なかつた。その上、米軍の各戦闘兵科の相對的兵力の決定は、當時擴張中であつた訓練施設の收容能力によつて制限された。

斯くの如く未知數なものが多かつたが、一九四二年の初頭、陸軍は三百六十萬人、七十一個師團の兵力を持つた。その編成は歩兵五十九個師(國民防衛軍十八個師を含む)、機甲十個師、騎兵二個師であつた。この部隊は、當時我が國で訓練と裝備と中心的將校下士官を與へ得る最大のも

のであつた。一九四二年の半頃、英國內でフランス上陸及び北阿作戰の基本的構想が具現化し始めた時、吾々は更に多數の勤務部隊を必要とすることが明かになつた。この要求は實際のないものであつた。同年末、陸軍の總兵力は五百三十九萬七千六百七十四名に増加してゐた。併しながら計畫者達は、一九四二年中に一九四三年度の所要員數の研究をしてゐたが、その要求こそは陸軍の最大動員數であり、且つ必勝のために必要な力を吾々に與へるものであると信じられたものであつた。この計畫は、將兵合計八百二十四萬八千名に達するものであつた。陸軍は最初、この兵力を以て百五個の師團を編成出来ると考へてゐたのであるが、後になつて百個師團しか編成出来ぬことが明らかになつた。一九四三年の中頃までに、若し今世界戦争のために計畫された凡ゆる努力が均衡をとらねばならぬとすれば、この總動員計畫は國家の人的資源に過重の負擔を課することになるだらうといふことになつた。吾々のチレンマにとつて幸ひなことには、スターリングラード戦は今や過去のものであり、赤軍は着々と攻勢に移つてきたのであつた。そしてワシントンの三國會談の後間もなく動員數は七百七十萬に低下した。この會議において初めて全作戦がしつかりして來て正確な計畫を樹てることが出来るやうになつた。斯くて五十四萬八千名の減員となつたのである。師團の數は密林戦及び山岳戦のため特別の訓練を受けつゝあつた三個の



特殊輕師團を含めて總數九十個師に限定された。後に、當時北阿に在つた第二騎兵師團は活動を停止して、南佛上陸を授けるため緊急に必要な勤務隊となつた。同時に、空軍の動員は二百七十三個集團と定められ、超重爆撃機(B 29及びB 32)五個集團、重爆撃機(空の要塞及びリベレーター)九十六個集團、中型爆撃機二十六個集團、輕爆撃機八個集團、戦闘機八十七個集團、兵員輸送機二十七個集團及び偵察機二十四個集團を包含した。

一見したところ、米國のやうな大國にとつては我地上軍は不安な程小さく思はれた。戦前八千萬の人口を有してゐたドイツは三百十三個師團を動員した。日本は百二十個師團を野戦に廻した。イタリイは七十個師團、ハンガリーは二十三個師團、ルーマニヤは十七個師團、ブルガリヤは十八個師團であつた。主要聯合國中、ソ聯は五百五十個師團以上の計畫を持つてゐたし、英國は五十個師團以上、支那は三百個師團以上となつてゐた。但し支那の師團兵力は米國流の計算を以てすれば、聯隊程度の兵力にも達せぬことが屢々あつた。ともあれ吾々は、軍事上の男女の動員においては聯合國中第二位であり、全交戰國中では第三位であつた。ソ聯は二千二百萬の男女を戰闘に用ひ、ドイツは敗北の日までに一千七百萬人の男女を動員してゐた。米國の軍務に動員

した最大員數は一千四百萬人であつた。英國は一千二百萬人、支那は六百萬人であつた。

今次大戰は、樞軸國及び聯合國の男女推定約九千三百萬人を戰闘の渦中に投じた。而して幸にもその數は聯合國側の方が多かつた。聯合國側の總動員數は六千三百萬を超え、敵のそれは三千萬であつた。上記の數字は米國が如何に航空戰に、また自國及び聯合國の兵器の製作及びその輸送に力を注いでゐたかといふこと、本國から三千哩乃至九千哩も離れた所で戰争をする場合の人力の意義を示すものである。

米國の人口の割合からすれば、我が地上軍は他の交戰國に比して非常に少いものであつた。然し効果的には我が地上軍は單なる數字上の比較によつて示されるよりはすつと大きいのである。といふのは、米國では地上軍八十九個師團と、二百七十三個飛行集團を充分維持し、これ等の部隊をして長期間戰闘を繼續し得しめるやうな交替要員の訓練組織を樹立してゐたからである。過去の戰争においては、人的資源の許す限り最大數の師團を編成し、これ等の師團が全滅に近くなるまで戰はしめ、然る後に前線から撤退せしめ、後方で再編成をするのが建前であつた。一九一八年、米國遠征軍は師團の兵力を縮少するの止むなきに至り、遂にはフランスに逐次到着する新來師團を解體して戰闘中の師團の限られた兵力の維持に當る有様であつた。今次大戰に吾々の採



用した組織は、各個の交替要員を訓練所から第一線師團へ不斷に送り出し、各師團の兵力を常に充實せしめておくものである。空軍も死傷者を交替せしめる同様の組織を持ち、交替搭乗員を準備しておいた。

この組織に依り、吾々は莫大な海軍及び船舶輸送の計畫、爆撃計畫、前例なき、殆んど信すべからざる生産及補給の計畫を遂行し、同時に地上では、敵に致命的打撃を與へるに必要な兵力を集中することが出来たのであつた。この組織には更に利點がある。軍司令官に隸屬する師團の數が多ければ多い程多數の補助部隊が必要となり、輸送、補給の問題もそれだけ大きくなるのである。若し師團數は少くても、常に充實しておれば攻撃力を繼續することが出来、他方數字上の計畫は非常に簡單になるのである。

吾々が陸軍の規模についても計畫を樹てた頃には、全世界に立體戦を展開するといふことが、人力をどの程度に必要とするかを見通すことは不可能であつた。あらゆる戦争におけると同様に、この戦争に於ても將兵が敵の行動や病の犠牲となつて倒れ、或は數ヶ月も激しい戦闘に参加する結果、神經及び肉體の疲勞のため役立たなくなることは明らかであつた。然し戦争の性質と技術とは、假令根本的なものでなくとも、常に變化しつゝあるから、過去の戦争の經驗から推し

て次の戦争の損害を豫知することは不可能である。この大戦を通じて、月々變化した我が死傷者の程度と性質とは、我軍が闘つてゐた土地、氣候、及び敵の抵抗の内容如何にかゝつてゐた。或る過誤が発見された場合、それを訂正するには、米國內の訓練所と世界各地の戦線との間に存在する時日と距離のため數ヶ月を要する状態であつた。然しながら、陸軍の各種分野に要すべき人員數と、あらゆる方面に要する人員の總數とを、約一年前に見積るには死傷率と、輸送、休養、再起のための要求を正確に豫知することが必要であつた。

或る豫想は正確であり、或るものは不正確であつた。地上軍の損耗率の正確なる豫想は、爆撃、砲撃、敵の士氣、敵の戦闘能力、その他遠い將來に關する推測を妨げる無数の要因等の効果に直接結びつかねばならなかつた。戦の進展に伴ひ吾々は且々の經驗を絶えず研究し、特殊状態下において期待すべき事柄を知つた。然しこの場合にも、それ等の推測は絶對的なものではあり得なかつた。北阿の戦闘の後、吾々は、我が機甲部隊の大消耗は當然あるだらうと考へることが出来たやうであつた。故にシシリー作戦に備へて、相當數の戦車操縦員及び搭乗員を準備することとし、米國內における訓練計畫に一段と拍車をかけた。



然るにシシリに上陸するや、我が戦車に對する敵の抵抗は極めて弱く、損害は以外に少かつた。そこで吾々は直ちにイタリーの山岳地帯の戦團に移つた。ここでは戦車の使用は困難で、戦車乗組員は過剰となり、歩兵が非常に不足して、理想的な防禦陣地から賢明にして頑強な敵を驅逐するための歩兵の不足を發見した。

兵力不足の危機は、一九四四年の秋及び四五年にかけての冬に、歐洲とフィリッピンでの長期間の激戦において生じたのが最後であつた。然しこの問題に關する吾々の苦惱は、他の聯合諸國や殊に獨軍のそれよりは遙かに餘裕のあるものであつた。獨軍では師團兵力が時には五千名以下になつたこともあつた。

ライン河に對する最後の進撃以前、ジグフリード線の戦團では、天候は極めて悪く、且又部隊の大部分は六月のノルマンディー上陸以來連続して戦闘して來た者であつた。アントワープ作戦に先立つて聯合軍の輸送のための港灣施設の不足は、師團を正常な豫備兵團として維持し、從つて部隊が前線と後方の心地よい休養所との間を廻轉することを許さなかつた。英國と西北フランスに在る師團はこの目的のために利用出来るものであつたが、鐵道の不完全と軍需品の殺到はこれ等の師團を前線で維持することを不可能にした。斯くして戦闘部隊は非常な過勞を強ひられ

る結果となり、交替要員の不足が加はるや、狀況は眞に重大化した。獨軍がアルダンヌにおいて最後の攻勢を開始したのはこの時であつた。

斯かる重大なる時機に於ける交替要員の不足は長い間蓄積された諸事情に基く結果であつた。陸軍の兵力は、一九四三年の秋、選抜兵制による任官者の配分——四ヶ月に約十萬人——の不足により均衡を失つてゐた。第二の誤算は、北阿戦の後餘りにも多數の人員が機甲部隊、砲兵、特殊部隊の訓練を受け、歩兵としては餘りにもかけ離れた小人數が訓練される結果となつたことである。第三の原因は、戦争の初期において長距離に亘る海外の石油輸送管の設置に従事すべき多數の人員を全力を擧げて補充しなかつたことと、米國で訓練された兵士達が配屬師團へ到着するまでの時間を考慮に入れてゐなかつたことである。陸軍省が他から激しい壓迫を受け、そのため兵力要求を差控へ、或は要求數を削減せざるを得なかつたことも一因である。陸軍省の兵力要求見積案に對して相當激しい攻撃が一年以上にわたつて續けられた事が思ひ出されよう。このため吾々は、必要な時に必要なだけの人員を得ることが出来なかつた。

航空部隊には、空軍獨得の、微妙な問題がある。上空で蒙つた死傷者はその日の中に交替され



ないと戦闘能率に重大な反響を及ぼすことが發見された。食卓の空席は激戦に従事する他の生存者に意外に憂鬱な影響を與へた。又、頻繁な出勤は豫想外の疲労を齎らし、定員外に交替用搭乗員を必要とした。第八航空軍は、激戦を繼續し、損害を受けてゐた期間に、作戦に使用する飛行機一機につき三名の戦闘員を用意し、二十五回出勤すれば米國へ歸還させる必要のあることが判明した。同じ頃、損害の未だ輕かつた地中海方面では、搭乗員の休養が必要となるまでには五十回の出勤が可能であつた。

西南太平洋及びアリューシャン列島方面航空部隊は、長い間耐へ得ない程の激戦と忍耐の繼續であつた。氣候、孤立化、日本の抵抗に對する兵力の不足、これ等の條件は相共に交替要員の大増強を促すものであつた。

熱帯地方でも豫期しなかつた難問題が生じた。即ち、地上勤務員は事實上毎晩徹夜で飛行機の整備をしなければならず、その結果マラリヤ蚊が盛んに活動する時にその攻撃に曝されなければならなかつた。彼等は過勞と、アタプリン劑の複作用に非常に苦しんだので、これを恢復させるために、豫定期間以前に恢復のために交替させる必要が生じた。

交替制度を實施するため、吾々は地上部隊及び勤務部隊の交替要員訓練所を設けた。嚴しい戦況下において極めて大切なチームワークを、兵士及び部隊に教育することはなかく困難なので、新編成師團の多くの構成分子の訓練をするには一ヶ年以上かゝつた。然し交替要員として古参部隊に参加出来るやうな兵士をすつと短時間に訓練することは可能であり、且つ實際的であつた。斯かる部隊では戦歴古参兵が彼等を師團構成員に適合するやうに急速に仕上げることが出来たからである。交替要員訓練所においては、兵士達は十七週の集中教育期間で師團に入隊し、死傷者の補充に當る準備が出来てゐた。先づ六週間の基礎軍事教育と激しい肉體訓練が施され、殘餘の期間に戦闘で使用する武器、作業や勤務の時用ゆる各種の機械等の操作を體得し、或は分隊、小隊、中隊、大隊又は實際に戦争をした作戦部隊の戦術を學んだ。

例へば或る歩兵は、自分の主兵器の使用に熟練したほか、M1小銃、騎兵用短銃、手榴彈、擲彈銃、自働小銃、三十耗中機關砲、六十耗迫撃砲及び二人用ロケット發射器等に精通した。これ等は歩兵の誰もが使用せねばならぬ武器である。又兵士達は兵器に精通せしめられたばかりでなく、自分の健康について各自が充分注意するやうに教育された。即ち個人衛生、マラリヤの防禦、汚水の淨化法、調理法、外で酒を飲まぬこと、その他良き兵士が知らねばならぬ學課をしつか



り教へ込まれた。然しながら最も大切なことは、我が交替要員は戦闘で生き残る秘訣を教育されたことである。陸軍が歴戦の古強者を獲得すると、彼等は將校、兵を問はず故國へ歸還を命ぜられ交替要員訓練所の教育掛りとなつた。戰場において生存する方法を體得したこれ等の軍人は、新兵にその知識を傳へたので、彼等の初陣において生存の効果と機會を得せしめたのである。教育は訓練の中に體得するやうに出来るだけ實際的に行つた。市街戦、密林戦、近接戦闘等は實彈を使用して實戰的に演習され、兵士達は掩護機關銃火の下を匍匐し、手榴彈を使用し、或は實彈による掩護砲火の下を前進することを、實戰で行ふと同様に訓練された。斯かる訓練は國內で若干の死傷者を生じたが、斯くして惹起された犠牲のお蔭で實戰場に於ける多數の人命を救つたことは確である。

交替教育が終ると、兵士達は、彼等の戦線への旅の始まる外地交替部隊本部に報告する前に、故郷で休暇をとるのであつた。作戦地へ着くと、彼等は兵團、軍、兵團等の後方に設けられてある交替本部を通じて配置される。各師團長は死傷者と交替させる要員を要するときは、兵團交替部隊に之を要求し、斯くて交替兵は前線へ移動するのであつた。

交替要員は、なるべく師團が行動してゐない時期にこれに編入せられるか、さもなければ豫備陣地の聯隊に編入せられ、新要員は、部隊が行動を起さない中に、分隊の戦友の顔を覺えることが出来るやうに古參者と一緒に訓練された。然し戦闘が激しい時には、交戦中の部隊に直接編入されることも時にはあつた。

一九四四年の春までに交替組織の缺點が大略判明したので、陸軍省はこれに對し思ひ切つた修正を加へようとした。各戦域に向けて指令を發し、再訓練所を設けて陸軍部隊の各兵を最も有効に働かしむべきことを命じた。戦争の初期に動員の危機があつたが、その後勤務部隊、地上部隊、訓練隊、特に空軍は最優秀の兵員を多數に得た。然し新編成師團は作戦半ばにして歩兵及び砲兵に適する身體を持つた兵員の不足がはつきりして來た。後に、米國の人的資源は底を突かんとする傾向を示し、残つてゐる民間人の中から戦闘に適する身體の所有者を獲得することは益々困難になつてきた。かうなると、戦線をしつかりと維持して行くためには既に軍隊に入つてゐる者によるのが唯一の方法であつた。その爲訓練計畫を短縮し、國內で訓練中の師團の中から約九萬人の歩兵を選出した。この頃、戦闘が激しくなるにつれて、負傷や病氣のため海外師團から病院へ後送されるものが次第に多くなつてきた。これ等の、まだ國家に盡すことは出来るが、第一線の



狐穴の辛苦には最早堪へられぬ退院患者を以つて勤務部隊を充實し、再訓練期間を終へて潑刺たる兵士を前線へ送り出す計畫もあつた。

米國では、身體の強健なものは勤務部隊や訓練部隊から悉く引抜いて、負傷者、病氣又は前線の劇務のために弱つた者、乃至は長年外地に在り廻轉政策によつて歸還の資格を與へられた者、出来るならば民間人等と交替させることも定められた。

米國內での軍要員要求数を少くし、強健な者を最大限度に外地へ送り出すため、ロレンゾ・D. ギャサー少將を首班とする戦争人員局の指令の下に専門人員査察團が各勤務隊及び訓練機關に派遣され、素晴らしい成果を収めた。

人員査察團によつて齎される人員の削減及び陸軍省人事局の政策の結果、地上軍訓練機關又は米空軍の優勢のため最早不必要となつた部隊等から十四萬三千名が歩兵としての再教育のために引抜かれた。空軍からは別に六萬五千名、勤務部隊から二萬五千名が檢出された。防衛部隊からは一萬二千名、各戦區の兵站部から千萬名が再教育に廻された。

アイゼンハウワー大將を援けてその兵站部隊から身體の強健な者を抜き出し、以て戦闘部隊の

死傷者と交替せしめるため、當時陸軍地上部隊司令官であつたベン・リアー中將が歐洲戦域司令官代理に任命された。斯くしてアイゼンハウワー大將は、この重大なる人事再調整問題に全努力を捧げる優秀な將官級將校を得たのである。

陸軍全體の基礎兵力を七百七十萬以内で維持するため、選抜兵に對する要求は、一九四四年初頭の一ヶ月十六萬名から、同年秋の六萬名に削減せしめられた。然るに同年の冬、交替要員問題の危機が最高潮に達した時には、交替し得る要員は残つてゐなかつたが、それでも再び選抜兵に對する要求が起つた。この要求は本年の二月には八萬名に増加し、六月末までには毎月十萬人の増加を示した。

米國內においても、海外においても、機會ある毎に陸軍女子部隊の兵員を男子と交替させることを見逃しはしなかつた。陸軍女子部隊は創設第四年目に入り、現在約十萬の兵力を有し、その中六千名は將校で、約一萬七千名が戦地で勤務してゐる。陸軍女子部隊は軍醫や傷病兵の世話をする看護婦を援けて、約百個の一般病院中隊を補充訓練することによつて病院關係要員の破局的な不足に大いに寄與したのであつた。陸軍女子部隊の訓練はジョージヤ州のフォート・オグレンツプ訓練所の閉鎖と同時に、フォート・デ・モインに合併された。



一九四四年初頭、陸軍は十九歳以下の者を海外戦闘部隊交替要員にせぬことと定めた。他に使用し得るものゝある限りは、十九歳以下の者は戦線へ送らぬ方針であつた。數ヶ月後この方針は強化され、如何なる状況の下に於ても十九歳以下の者を歩兵及び戦車兵として使用しないことゝなつた。秋までに、陸軍はこれ等の人的資源を使い盡してしまつたが、アイゼンハウワー大將の麾下軍隊の兵員の不足は益々甚だしくなるのみであつた。交替要員訓練所は、年齢十八歳に達して入所せしめられた者が大部分を占めてゐた。そこで歐洲の作戦活動を撤回するか、將又この年齢の者を軍隊に使用するか否かは明かに問題であつた。若年者を軍隊に入れてはならないといふ事は軍事的理由にはならない。十八、十九、二十歳位の年齢の者は最も軍人たるに適してゐる。彼の優秀な海兵師團は主としてこの年齢の者より成つてゐる。彼等は壯年者よりも耐久力と恢復力に富み、この肉體上の優越が長時間の激戦の歸趨を決することが多いのである。年齢十八歳の者を戦闘に使用しない唯一の理由は、斯かる若年の者は戦闘といつたやうな大きな危険の中に曝してはならないといふ道徳的な理由に同情する極めて多數のアメリカ人の好みがあるからである。陸軍はこれ等の意見に従ふためあらゆる努力を拂つたが、勝利を賭けるか、或はこれを獲得し得る人を用ふるかの問題となると後者を選ばざるを得なかつた。やがてドイツが降伏し、激しい兵

員不足が緩和されるや否や、十九歳以下の者の使用を停止する新方針が改めて採用された。議會は一九四五年五月、選抜交替要員條項を敷衍して、年齢十八歳の者は戦線へ送られる前に、少くとも合計六ヶ月の訓練を與へらるべきことを正式に規定したのであつた。

我が動員計畫は、實に正確に勝利を得るための要求に適合してゐた。デーニッツ提督がドイツ政府を開け渡した時には、米軍師團は悉く作戦に参加してゐた。一度も作戦に参加しなかつたのは、ハワイの重要軍事施設を警備してゐた師團と、シェーフ（歐洲派遣聯合軍最高司令部附豫備軍）となつてゐた空挺師團との二つのみであつた。アイゼンハウワー大將をして、西部獨軍に最後の打撃を與へしめるため、米國內に在つた二箇師團が米大陸を横斷して歐洲行きの船に殺到した。彼等は太平洋方面の將來の作戦のためにイーヤマークされ、二月には西部海岸に駐屯してゐた第八十六師團と第九十七師團であつた。これ等の師團がニューヨーク港を離れた時には、米國內には戦闘師團は一箇も残つてゐなかつた。編成された米國軍隊は悉く海外に送られ、歐洲において勝利を吾々の手に齎らし、又日本軍に對しては充分な壓力を加へ、敵をして壕を掘り最後の敗北を阻止せしめないやうにした。



これ等の事實の意味する所は慎重に考へてみる必要がある。獨軍の三分の二はソ聯軍と交戦してゐたにも拘らず、歐洲で吾々の役割を果し、同時に太平洋方面で日本軍を壓迫するためには、動員に適すると國家が認めた者は悉く動員したのであつた。赤軍が敗北し、英國が侵略されてゐたらどんな結果になつてゐたらうか。實に危いところであつた。

(一) 陸軍地上部隊

- |      |                     |
|------|---------------------|
| 高射砲隊 | テキサス州 フォート・ブリス      |
| 機甲部隊 | ケンタツキー州 フォート・ノックス   |
| 騎兵部隊 | カンサス州 フォート・リレイ      |
| 野砲隊  | ノースカロリナ州 フォート・ブラッダ  |
|      | オクラホマ州 フォート・シル      |
|      | フロリダ州 キヤムプ・ブランドインダ  |
|      | サウス・カロリナ州 キヤムプ・クロフト |
|      | テキサス州 キヤムプ・フアニン     |
| 歩兵部隊 | ジョージヤ州 キヤムプ・ゴードン    |

歩兵部隊

- |          |              |
|----------|--------------|
| テキサス州    | キヤムプ・フッド     |
| ルイジアナ州   | キヤムプ・リビンダストン |
| カリフォルニア州 | キヤムプ・ロバート    |
| アラバマ州    | キヤムプ・ラツカー    |
| ジョージヤ州   | キヤムプ・ホヤーラー   |
| テキサス州    | キヤムプ・ウオールタース |
| アラバマ州    | フォート・マツダクレラン |
| テキサス州    | キヤムプ・ホウツエ    |
|          | キヤムプ・マツセイ    |
| アラカンサス州  | キヤムプ・ロビンソン   |
| テキサス州    | キヤムプ・フツド     |

CID 陸軍勤務部隊

- |        |                    |
|--------|--------------------|
| 高級副官   | ヴァージニヤ州 キヤムプ・リー    |
| 化學戰勤務隊 | ルイジアナ州 キヤムプ・クライホーン |
| 工兵隊    | フォート・ベルビオー         |



工兵隊	ワシントン州	フォート・ルイス
計理隊	ミソリー州	フォート・レオナードウッド
衛生隊	インディアナ州	フォート・ベンジャミンハリソン
兵器廠	ミソリー州	キヤムプ・クラウダー
兵站兵團	ワシントン州	フォート・ルイス
信 號 隊	メアリーランド州	アバーデン・ブルーピングラウンド
特別勤務隊	ミシシッピ州	フローラ
輸送兵團	ワイオミング州	フォート・フランシス・イー・ワレン
	ヴァージニア州	キヤムプ・リー
	ミソリー州	キヤムプ・クラウダー
	ヴァージニア州	キヤムプ・リー
	フロリダ州	キヤムプ・ゴードンデジョンストン
	ペンシルヴァニア州	インディアナタウン・ガツプ
	ルイジアナ州	キヤムプ・ブラウジセ
	ワイオミング州	フォート・フランシス・イー・ワレン

## 2. 勝利の犠牲

空軍力及び火力において壓倒的な優勢を持してゐたにも拘らず、今次大戦は米國史上最大の損害を伴つた。歐洲のみにおいても勝利の蔭には七十七萬二千六百二十六名の損害があり、その中、戦死者は十六萬四千五百名であつた。太平洋の勝利の犠牲は、戦死者四萬一千三百二十二名を含めて十七萬五千九百六十六名であつた。一九四一年十二月七日以來の戦死者の数は、南北戦争における南北兩軍の損害合計よりも大であつた。余は次にこれまでの戦争の戦死者数の比較表を提供する。さうすれば、吾々が全く無準備でゐた今次大戦の尨大なる犠牲に就いて誤解が無くなる筈である。

戦争	継続月數	戦死者總數	一ヶ月平均戦死者數
アメリカ革命	八〇	四、〇四四	五〇
一八一二年の戦争	三〇	一、八七七	六二
メキシコ戦争	二〇	一、七二一	八六
南北戦争(北軍)	四八	一一〇、〇七〇	二、二九三
南北戦争(南軍)	四八	七四、五二四	一、五五二



米西戦争	四	三四五	八六
第一次大戦	一九	五〇、五一〇	二、六五八
第二次大戦	四四	二〇七、三六七	四、五七六

一九四一年十二月七日からこの報告提出までの、陸軍の損害総計は九十四萬三千二百二十二名で、うち戦死者は二十萬一千三百六十七名、負傷者五十七萬七千八百八十三名、捕虜十一萬四千二百五名、行方不明五萬六千八百六十七名であつた。負傷者、捕虜、行方不明の總數中、六十三萬三千二百名が再び勤務に就くか、或は米國に送還された。

對獨大戦略爆撃及び地中海方面の戦闘開始に伴ひ、一九四三年には我が損害率は一ヶ月五千名以上に上つた。一九四四年の最初の五ヶ月には、空襲及びイタリアの戦闘が熾烈化したため、我が損害即ち戦死、負傷、捕虜、行方不明の合計が一ヶ月一萬三千七百名に達した。西ヨーロッパに上陸するや、損害率は一ヶ月四萬八千名に上昇し、十二月には八萬一千名となつた。同年の後半期六ヶ月の平均は五萬九千名であつた。

太平洋方面に就いて見ると、一九四四年に日本への進撃のため要した損害は、月平均三千二百

名であつた。同年前半の七ヶ月には、日本本土に近づくにつれて月平均一萬二千七百五十名に増加した。

最大の損害は、日夜を通じて戦闘の續いた地上戦で生じた。病氣や遺棄等による相當大きな損害を除いても、戦闘師團の受けた損害は米軍の全損害の八十一パーセントを占める。然し、總體的ハイセンテージは少くとも、航空機搭乗員の蒙つた損害も極めて莫大であつた。七月末迄に陸軍航空部隊の損害は約十二萬名でこの中三萬六千六百九十八名は戦死である。敵地への空襲は空軍死傷者に莫大な永続的苦惱を與へた。地上部隊負傷者の總體的損害率は高かつたが、陸軍が戦争中實施した優れた醫療手當により全快する者が多かつた。

損害表

次に歐洲方面損害表（イタリアを含まず）を掲げ、我が損害の狀況を示す。

區分	損害數	損害百分比
司令部部隊	一、〇九四	〇・一八
軍團、軍、兵團附屬部隊	六〇、九九八	一〇・三五
歩兵師團	三九二、九九〇	六六・六九



機甲師團	六二、四一七	一〇・六〇
空挺師團	二二、〇〇八	三・七三
戦闘師團總計	四四七、四一五	八一・〇二
野戰軍總計	五三九、五〇七	九一・五五
航空司令官隷下部隊	一、六九九	〇・二九
戰略航空軍	三七、五〇〇	六・三六
戰術航空軍	六、三四六	一・〇八
航空軍總計	四五、五四五	七・七三
兵站部隊	四、二一七	〇・七二
總計	五八九、二六九	一〇〇・〇〇

陸軍の外派遣總兵力中、歩兵は約二十・五パーセントに過ぎぬのであるが、全死傷者数の七十パーセントを占めてゐる。今次大戦で敵の兵力には階級的な容赦はなかつた。死傷者の十・二パーセントは將校で、その率は兵よりも僅かに高い。

他方、野戦外科及び醫療法の向上の結果、負傷による死亡率を第一次大戦の二分の一以下に下げ、負傷者の五八・八パーセントは前線に復歸して任務に就くことが出来た。

我が損害も大きかつたが、敵の損害は我に數倍するものであつた。米軍の戦死者二十萬一千三百六十七名に對し、獨、伊、日の戦死者合計は百五十九萬二千六百名であつた。不具になつた敵兵數は約三十萬三千七百名と推定される。吾々は八百十五萬四千四十七名の敵を捕虜とし武裝解除した。

次に、歐洲において米、英、佛と戦つた獨伊軍の損害を示す。

獨伊軍の損害	戦死	不具	捕虜	計
チユニジア	一九、六〇〇	一九、〇〇〇	一三〇、〇〇〇	一六八、六〇〇
シヅリ	五、〇〇〇	二、〇〇〇	七、一〇〇	一四、一〇〇
イタリ	八六、〇〇〇	一五、〇〇〇	三五七、〇八九	四五八、〇八九
西部戰線	二六三、〇〇〇	四九、〇〇〇 (註)七、六一四、七九四	七、九二六、七九四	七、九二六、七九四
計	三七三、六〇〇	八五、〇〇〇 (註)八、一〇八、九八三	八、五六七、五八三	八、五六七、五八三

(註) 武裝解除された敵軍三百四十萬四千九百四十九名を含む

日本軍の損害

眞珠灣以來の、支那を含む東洋の戰場に於ける日本軍の損害は左の通りである。



	戦死	不具	捕虜	計
南太平洋	六八四、〇〇〇	六九、〇〇〇	一九、八〇六	七七二、八〇六
中部太平洋	二七三、〇〇〇	六、〇〇〇	一七、四七二	二九六、四七二
印度ビルマ	一二八、〇〇〇	三八、〇〇〇	三、〇九七	一六九、〇九七
支那	一二六、〇〇〇	一二六、〇〇〇	一、〇五九	二五三、〇五九
アリユーション	八、〇〇〇	一、〇〇〇	〇、〇三〇	九、〇三〇
計	一、二一九、〇〇〇	二四〇、〇〇〇	四一、四六四	一、五〇〇、四六四

ドイツの俘虜となつてゐた米軍將兵の待遇改善については、常に努力が續けられて來た。歐洲の戦場でドイツ及びその衛星國家群の俘虜となつた米軍將兵は、總計約九萬八千名であつた。

敵が我が武力によつて、政治的崩壊の最後の段階に達するまで、吾々の抗議を敵に通じ、敵の手にある米人の救護手段を確保することは可能であつたが、それにも拘らずドイツは、終始聯合軍側の俘虜に對して適量の食物と衣類とを提供すべき義務を怠つてゐた。我軍がドイツの俘虜收容所を接收した時、甚しい蠻行と殘虐行爲とが聯合國俘虜に加へられてゐたことが發見された。詳細は目下調査中であり、犯罪者は罰せられよう。

日本の手にある米人俘虜の待遇改善に就ても吾々はあらゆる努力を拂つたが、思はしい結果は得られなかつた。米國は『日本は米軍俘虜及び民間人抑留者の取扱に關するジュネーブ俘虜協約の批准國ではないが、協約の規定は遵守する』旨の承諾を日本から得てゐたにも拘らず、日本政府はその義務を履行しなかつた。一九四四年ソヴィエト政府の協力を得て、極東にある米軍俘虜及び民間人抑留者に郵便物及び食糧等の輸送業務が開始された。日本々土、支那、滿洲、蘭領東印度に在る米軍俘虜及び民間人抑留者のために、日本政府の許可した最大限度内まで資金の使用が出來た。日本は、傷病者の俘虜を交換することに同意しなかつた。日本の俘虜となつた米人は、我軍の軍事行動の成功の結果としてのみ吾々の手に戻つたのであつた。日本との戦で一萬六千名近くの米人が俘虜となつた。

敵の俘虜となつてゐた米軍人は、傷病兵及び除隊のため歸還する前線戦闘部隊の高點者に次ぐ優先權を與へられて歸還してゐる。避生處置が海外に於ても米國內でも彼等のために採られた。休息と恢復のため、各人が米國內で六十日間の臨時勤務を許された。フィリッピンから歸つた俘虜は、一階級昇進せしめられた。歐洲の俘虜に對しても、彼等が俘虜にならなかつたら恐らく昇



進してゐたであらうと思はれる階級に昇進する機会が設けられてある。これ等前者の俘虜は點數制に依り、他は分離手段によつて解除されてゐる。

戦傷による死亡率の激減したことは、陸軍衛生勤務隊の功績を最も端的に證明するものである。最近二年間に陸軍病院は九百萬人の患者を收容した。他に二百萬人が部隊内で治療を受けた。八千萬人以上が施療所に来て外來患者として治療を受けた。この老大な仕事は、四萬五千人の軍醫と、これを援ける略同數の看護婦及び五十萬人以上（大隊補助兵を含む）の兵士達によつて爲し遂げられた。敵の砲煙下における彼等の任務に對する勇氣と獻身とは、彼等が協力した戦闘員のそれにも劣らず偉大なものであつた。

衛生部の功績中、ベニシリン療法は最も偉大なものであつて、既に數千の人命が救はれてゐる。二年前には、その生産過程が頗る複雑で、生産量が極めて僅少であつたため、それはまことに貴重なものであつた。爾後大量生産の技術が進歩し、陸軍は毎月二百萬管を使用してゐる。

米軍は世界でも最も瘴癘の地域に生活し、戦つて來たにも拘らず、陸軍の最近二年間における

戦闘以外に起因する死亡率は、民間の同年齡層のそれに略等しく、一千名につき年に三名程度である。この程度の死亡率に止まつたのは、腸チブス、チブス、コレラ、天然痘、破傷風、黄熱等に對する豫防處置が講ぜられたこと、兵員採用の際、各人の身體の條件を考慮して選抜した事によるのである。

今次大戦と過去の戦争に於ける戦闘に依らざる死亡率を比較するのは興味がある。メキシコ戦争では毎年將兵の一〇パーセントが病死した。南北戦争の北軍では七・二パーセント、スペイン戦争及びフィリッピンの騒擾では一・六パーセントに低下した。第一次世界大戦では一・三パーセントとなり、今次の大戦では〇・六パーセントである。

蟲類の媒介する疾患は、軍事史を通じて作戦過程における大きな障碍となつてゐる。嚴格な衛生教育と、極めて有効な殺蟲劑と散らし薬のお蔭がなかつたならば、太平洋の孤島における我軍の作戦は實際よりは遙かに困難なものとなつてゐたであらう。病菌を媒介する虱、蚊、蠅、蚤等に對する最も強力な武器は、普通にDDTとして知られてゐる新化學藥品である。一九四三年二月から翌年の初めにかけて、ナポリにチブスが著るしく蔓延したことがあつた。發病者は一日五十名に達する状況であつた。DDT撒布所が各所に設けられ、三月までに一千二百五十萬人が



その處理を受けた。この方法と、大規模な豫防注射計畫の實施とに依り、チブスは一ヶ月を出でずして抑壓せられた。サイパン上陸の直後、軍隊の中に Deng 熱が擴つたことがあつた。蚊の發生する場所へ空中から廣く DDT を撒布するや二週間以内に一日の患者發生數の八十パーセント以上が減少した。太平洋の島嶼、ビルマ、支那における發疹チブスの危険は、ディメチール・ブタレイト劑を衣服にふりかけることに依つて著るしく減少した。

戦争神経病患者の醫療法も確實な進歩を示し、神経病のため戦闘から落伍した者の四七乃至六十パーセントは再び戦線に復歸し、他の二十乃至三十パーセントは限られた勤務に就いた。戦争の初期には、如何なる任務にも適するまでに恢復したのは十パーセントにも充たなかつた。

戦場において全血液處理方法の發達は野戦外科にとつて非常な貢獻であつた。血漿も非常に役に立つものではあるが、副作用を抑へたり、負傷者の外科手術には全血液處理法による程の効果はない。血液貯藏所が各戦域に設けられ、數千の米國人の愛國の血液が飛行機によつて米本國から補給された。高級外科治療所には進歩した冷蔵庫があり、二十一日間血液を保存することが出来た。

傷病者は國家が與へ得る最も行届いた看護をうけなや中は除隊させられないため、衛生勤務隊は再起計畫を樹てた。その目的は、國家のために傷き、或は病に倒れた勇士達の心身兩面の健康を能ふ限り充分に恢復させることに在つた。

軍人が民間人としての生活に歸る準備を充分に整へ得るやうにするために、陸軍は二十五ヶ所に病後養生所を設立した。これ等の養生所では、高度の専門的治療が施されるのみならず、各人は自分の希望によつて、職業的訓練、調整運動等を自由に選ぶことが出来る。例へば腕若くは脚を失つた者は、適合する義肢を與へられ、以前の職業に歸つても自由に行動出来るやうに教へられる。戦争のため精神や神経に異常を生じた者に就てはあらゆる治療法が試みられ、再び平常の精神に復するまでは民間人としての生活に入らしめぬやう細心の注意が拂はれた。

### 3. 勲章

國家が戦闘員の業績に報ゆることは不可能である。僅か數分間の戦闘の苦惱を経た一兵士の業績と雖も充分に報ひ得るものではない。戦闘中の肉體的な勞苦、國家のため故郷を離れて、地球上の最も不愉快且つ危険な場所に赴くことに伴ふ甚しい個人的の不自由等に對しても亦同様であ



る。この眞實を國家が承知してゐることを軍人に理解してもらふため、陸軍は軍人が戦闘中遂行した困難な勤務或は勇敢な行動は速かにこれを表彰することを確固たる方針として來た。

戦傷者に與へられるパープル・ハート勳章——これは兵士が負傷した時前線の繙帯所で屢々直ちに授與されるもの——を除いて、開戦以來陸軍の勳章授與数は百四十萬四百九個に達する。國家最高賞たる國會名譽勳章は、二百三十九名に授與せられたが、四十%は英雄的な行爲を果しつゝ、戦死した人達である。殊勳十字章三千百七十八、殊勳章六百三十、レヂオン・オブ・メリット章七千百九十二、銀星章五萬二千八百三十一、航空殊勳十字章十萬三千七百六十二、軍人章八千五百九十二、青銅星章十八萬九千三百九、航空章百三萬四千六百七十六が附與された。航空章とパープル・ハート章とを除き、歩兵は全勳章の三十四・五%を、航空部隊は三十四・一%を、野砲兵は十・七%を、醫務關係者は六%を、其他の各兵科各勤務隊の合計が十四・七%を得てゐる。陸軍省は今次大戦中三十四の特別作戦を指定し、これ等戦闘中の一つに参加する毎に、青銅の小さな星を戦域勤務徽章の上に着け、青銅星章五個の代りに銀星一個を着用することに定められた。落下傘降下、グライダー着陸、敵前上陸の攻撃軍等に参加した者には、小さな青銅の矢尻が與へられた。例へば、北阿侵入からドイツの降伏まで、第一、第三或は第九師團と共に戦闘した

者は、この青銅攻撃矢尻と八個の青銅星章とを佩ける資格がある。陸軍省の指定した戦闘のほか、これに含まれぬ對潜水艦作戦、航空戦、地上戦闘等の参加者に對しては、戦地司令官から別に青銅章を與へることが出来る。

余のこの前の報告の後に、歩兵記章二個と、衛生記章一個が制定された。熟練歩兵記章は、教育が終つた時、自己の業務に好成绩を示した者に、戦闘歩兵記章は戦闘中歩兵として顯著な手腕を發揮した者に與へられる。衛生記章は、負傷者を救ふため武器も持たずに歩兵と共に戦火の中に飛込んだ衛生勤務者を賞揚するため贈られた。

從軍星章は、日本の降伏までの左記の戦闘に對して授與された。

◇歐・阿・中東戦域

エジプト・リビヤ	一九四二・六・二——一九四三・二・二二
歐洲 航空 戦	一九四二・七・四——一九四四・六・五
アルゼリヤ、佛領モロッコ	一九四二・一一・八——一九四二・一一・一一
チュニジュア 航空	一九四二・一一・八——一九四三・五・一三
地上	一九四二・一一・二七——一九四三・五・一三
シシリ 航空	一九四三・五・一四——一九四三・八・一七



シ シ リ ー 地上  
 ナ ポ リ、ホ チ ヤ 航空  
 リ 地上  
 ロ ー マ、ア ル ノ  
 ノ ル マ ン デ イ ー  
 北 佛 佛  
 南 佛  
 北 ア ベ ニ ン  
 ラ イ ン ラ ン ド  
 ア ル デ ン  
 中 歐  
 ボ ー 河 谷  
 ◇ ア ジ ア 及 び 太 平 洋 戦 域  
 中 部 太 平 洋  
 ビ ル マ  
 フ イ リ ッ ツ ビ ン

一九四三・七・九——一九四三・八・一七  
 一九四三・八・一八——一九四四・一・二一  
 一九四三・九・九——一九四四・一・二一  
 一九四四・一・二二——一九四四・九・九  
 一九四四・六・六——一九四四・七・二四  
 一九四四・七・二五——一九四四・九・二四  
 一九四四・八・一五——一九四四・九・二四  
 一九四四・九・一〇——一九四五・四・四  
 一九四四・九・一五——一九四五・三・二一  
 一九四四・二・二六——一九四五・一・二五  
 一九四五・三・二二——一九四五・五・二一  
 一九四五・四・五——一九四五・五・八  
 一九四一・二・二七——一九四三・二・二六  
 一九四一・二・二七——一九四二・五・二六  
 一九四一・二・二七——一九四二・五・一〇

東 印 度  
 印 度 ビ ル マ  
 日 本 空 襲  
 ア リ ユ ー シ ヤ ン  
 支 那  
 パ ー プ ア  
 ガ ダ ル カ ナ ル  
 ニ ユ ー ギ ニ ヤ  
 北 ソ ロ モ ン  
 東 部 委 任 統 治 地 域 空 中  
 リ 地上  
 ビ ス マ ル ク 諸 島  
 西 太 平 洋 空 中  
 リ 地上  
 南 フ イ リ ッ ツ ビ ン  
 ル シ ン

一九四二・一・一——一九四二・七・二二  
 一九四二・二・二——一九四五・一・二八  
 一九四二・四・二七——(續行中)  
 一九四二・六・三——一九四三・八・二四  
 一九四二・七・四——(續行中)  
 一九四二・七・二三——一九四三・一・二三  
 一九四二・八・七——一九四三・二・二一  
 一九四三・一・二四——一九四四・二・三二  
 一九四三・二・二二——一九四四・一・二二  
 一九四三・二・二七——一九四四・四・一六 (註)  
 一九四四・一・三一——(註)  
 一九四三・二・二五——一九四四・一・二七 (註)  
 一九四四・四・一七——(續行中) (註)  
 一九四四・六・一五——(續行中)  
 一九四四・一〇・一七——一九四五・七・四 (註)  
 一九四五・一・九——一九四五・七・四 (註)



〔註〕 戦終了期日以後に、事實上敵と交戦した部隊又は個人に對しては、當該戦域司令官より戦  
闘参加星章が附與される。

#### 4. 情報と慰安

今次大戦において服役軍人の身體のみならず、精神上の問題についても特別の考慮が拂はれた。これは占領及び復員の間にも續いて實施されてゐる。今まで數百萬の米人が數年間海外に在つた。甚しい危険への曝露、單調、我が市民の馴染んで來た安樂な生活の缺如等、戦中彼等の通つて來た諸條件は、彼等に精神的及び神經的に極度の緊張を強ひた。陸軍は最初から、健全な情報と慰安とを以てこの緊張を和げる必要のあることを認めてゐた。

最初、陸軍勤務隊の特別勤務部が情報、慰安の兩者を擔當してゐたが、後により専門化するため、この部は情報に關する任務を解かれ、別に情報教育部が創設された。

特別勤務部は引續き方針を樹て、各戦域で慰安、娛樂の計畫、實施に貢獻してゐる。例へばこ

の部は、毎月戦時書籍協會により推薦された圖書を四百萬冊以上、雑誌を一千萬冊以上づゝ各戦域に送つて軍人に讀書の材料を提供してゐる。各戦域では、特別勤務將校が映畫、スポーツ、その他の娛樂設備を分配し、聯合奉仕組合の選擇した演藝團の派遣、又は赤十字軍事厚生計畫の實施について指示を與へる。各部隊には別に特別勤務將校が居つて、戦域司令部から提供されたあらゆる施設を最大限に活用し、又如何なる場所でも出来る限り臨時の娛樂、演藝プログラムを實施する。

過去二年間、各作戦々域において、兵の才能を利用して隊自體のショウや競技プログラムを作成し、本國から送られて來るものを補ひ、顯著な成果を擧げた。

情報教育計畫の任務は、我が軍隊が戦域に於いても世界の發展に遅れざらしめることを企圖する。該部は雑誌ヤングを出版し、又世界各戦域で日刊、週刊の新聞の發行を續けてゐる。現在、イギリス、フランス、ドイツ、イタリー、アフリカ、ハワイ等において八つの日刊新聞「スターズ・アンド・ストライプス」が發行されてゐる。アジア戦域では、CBIラウンドアップとして知られてゐる週間雑誌がニュー・デリーで發行されてゐる。



情報教育部は又負傷や病に倒れ所屬部隊を離れて入院中の兵士のためにも週刊雑誌「アウトヒット」を發行して、彼等の原隊に關するニュースを専ら提供し、入院者が原隊と全く離れて棄て去られたとか忘恩とかいふ感情に苦しむことの無いやうにしてゐる。世界各地の百五十四の病院に、毎週五萬五千冊の「アウトヒット」が配分されてゐる。

情報教育部は、軍隊の定期的輿論調査をも實施する。この調査は陸軍省が、各部隊に關係ある方針を決定するために利用する。點數による除隊制度も、軍人の輿論に關する専門的調査に直接基くものである。

情報教育部は又陸軍報道業務をも行ふ。これは、陸軍諸新聞と、部隊の情報教育將校が日々發行する謄寫版やタイプ刷りの報道にニュースを提呈するため、米國新聞の彙報や毎日の海外向け放送記事を編輯する。情報教育部はラヂオ放送プログラムを準備してこれを世界中の米軍に頒布する。今次の大戦中、最前線においても移動ラヂオによりこれ等の放送プログラムを利用することが出来た。これが有名な軍ラヂオ放送隊のラヂオで、ドイツから太平洋の島嶼に至るまでの米國人に故國の香を傳へるものである。

十ヶ所の海外支部を持つ武装軍講習會によつて兵士達は自分の教育と技術的知識を向上させる

機會を持つてゐる。終戦までは、百萬人以上の軍會員がこの通信講座、獨學資料、非番教室等を利用してゐた。

情報教育中には、米軍の進駐してゐる國々の言語風習等のポケット型案内書や、世界各地で發行される週刊ニュース、地圖シリーズ、軍隊内の公債賣出しの宣傳から果てはマラリヤの豫防法に至るまでの廣範圍の問題に及ぶ教育ポスター等が含まれてゐる。この部は又、フランク・キヤブラ大佐の「我が戦争目的」チー・アイ・ムービーで通つてゐる兵隊映畫の如き報道フィルム及び陸軍映画雑誌等を配給する。チー・アイ・ムービーは、現在の商業問題に關する短篇やアーミー・ビクトリアル・サービスの製作した喜劇、旅行記、教育物等を編輯したものである。アーミー・ネイヴィ・スクリーン・マガジンは、ニュース映畫や軍隊に特別關係ある新しい短篇問題等を編輯したものである。これには希望映畫も入れてある。ニューギニヤにゐる兵士の一グループは吹雪の映畫を希望した。世界各地の米兵士は何れも自由法規を説明する映畫を希望した。或る兵は、「古き水車の畔」の四部合奏曲を希望した。このやうな又は同種類の希望はアーミー・ネイヴィ・スクリーン・マガジンに採り上げられた。

情報教育部及び特別勤務隊に課せられてゐる重大任務は、米國への歸還を待つてゐる在歐洲軍



人及び各地の占領軍のために建設的な活動力を提供することである。

現在歐洲では故國復員兵士が便船を待つ間の數ヶ月間に、彼等に健全にして有益な活動をなさしめるために尨大な教育及び慰安計畫が樹てられてゐる。

向學の志ある兵士に教育の機會を提供するため、三つの廣範圍にわたる計畫が樹てられた。その最大なるものは、目下歐洲及び地中海戦域に活動してゐる小部隊の兵士のための學校計畫である。これ等の學校は、大隊或は聯隊級の部隊に置かれてゐる。歐洲に於けるVEデー以前には、これ等の學校が急速に進捗するやうにするため各戦域に對し武裝軍講習會の手により充分な教科書が送られた。その學校は、中學校及び職業學校の課目中より選ばれ、専門學校の下級程度の學科目——代數、基礎化學、歴史、語學その他——も含まれてゐる。讀み書きの教育も施された。軍人は各個に希望する課目を選び、歸國の船を待つ間自分の隊内で勉強を続けることが出来る。

上級程度の研究や技術の再教育の機會も提供された。英國のチッドワースには、四千名を收容し得る二ヶ月卒業の中央技術學校が設立された。これは八月中旬、一般軍人及び陸軍女子部隊員にして民間生活に復歸する前に自己の職業技術の復習をしようとする者のために開かれたのであ

る。入校資格としては、志願者はその職業に三年乃至四年の經驗を有することが必要とされる。英國のシュライベンハムとフランスとは大學部が設けられた。これ等は、専門學校程度の五課目について二ヶ月間開講する。各大學の一期間の收容能力は四千名である。入學するには、少くともハイスクールを卒業してゐる事が必要であつた。教師は、民間人時代の教育經驗者から選ばれた軍人である。又米國の優秀な教育家の援助もある。これ等の何れにも入ることを好まぬ者は、更に尙通信講座の機會が與へられてゐる。

占領の任務についてゐる軍隊は、現在は殆んど餘暇が無いが、歐洲の形勢が安定するにつれて、彼等は有益な活動をする時間を更に多く持つやうになるであらう。上記の各種機關を利用せんとする男女軍人が歐洲戦域のみにて百二十五萬人に達することが豫想される。

同時に、慰安計畫も急速歩調で實施されるであらう。ドイツ降伏の日から、娛樂施設の特設が始められた。ベースボール、フットボール、ゴルフ、水泳、テニスその他米國人の好むスポーツを軍隊内でもやる事が出来るやうになつた。戦争が終つてからは何處でも映畫が見られるやうになつた。全占領地帯を通じて無數の酒保が設けられた。そこには米國內にゐると同様に食物や茶葉があり、賣場ではスイスの時計、フランスの香水その他信用し得る歐洲製品が廉價で手に



入る。太平洋方面でも占領軍の要求に應じて教育及び娯樂の計畫が促進されるであらう。

## 5. 陸軍の運営に就て

過去二年間に、三大部隊（陸・空・勤務部隊）及び陸軍省の參謀は、戦争努力に對し廣範圍に亘り貢獻するところがあつた。

空軍は著るしい勢ひで發達した。空軍が大膨脹を遂げた、めに若い司令官や參謀がどしどし、高い地位に据えられ、廣範な經驗によつて圓熟し、今や空軍に最も有効な軍事的指導力——老練なる知識と判斷力を持つて青年を強力に指導する——を與へた。理論的構想は巧みに行動に移され、修正され完成されて行つた。新構想は歓迎され、迅速に試みられた。若い操縦士や戦闘員は毎日、最少の犠牲で敵に最大の打撃を與へつゝ、危険且つ困難な任務を遂行した。人員、飛行機、技術、指揮において二百萬人以上を擁する陸軍空軍は、米國の勝利に大きな貢獻をした。攻勢戰術と戰略精密爆撃とにより、彼等は米國のこれ等の勝利を最少限度の損失をもつて獲得せしめたのであつた。

陸軍地上部隊司令部は、驚くべき短期間に最大限の陸軍を編成し、同時に損害補充のため別に

百十萬人の交替要員を教育するといふ難事業を完遂した。地上部隊司令部は丁度今その仕事を一通り終つた所である。先づ師團の編成と訓練から始めて、外地地上部隊の發展及びその死傷者の交替を行つた。遂に、今年六月歐洲の勝利の後各師團の第一陣を故國に歸し始めたのである。

陸軍勤務部隊の任務も筆紙に盡し難い程困難にして複雑なものであつた。この部隊の努力は一般は勿論、陸軍部内の將兵達にさへ漠然としか理解されてゐない。陸軍や海外の大作戰完遂の爲の要求も、屢々國內の輿論の反對に遭ひ、却つて次々に非難を招來することがあつた。その非難たるや、顯著な事實や根本的な條件を屢々見落してゐて多くは正當ではないこともあると考へられるのであつた。米本國と戦線との間には數千哩の距離があるため、本國及び外地に豫備品を貯へておく必要と、各戰場における需要量の急變は陸軍勤務隊にとつて不意の需要に對する準備を必要としたのである。中心における些細な變化は圓周においては數哩の大さに變る。

米人の日常生活を邪魔し、制限するやうな條件を判斷するに當つて民間人は細密な考慮を拂はない場合が屢々ある。戦闘員に對する補給を彼等の要請する時と所とに應じて行ふことは、擔當將校の重大な使命である。言譯や説明は兵士にとつて受け入れ難いものであり、又政治指導者は、或る程度の不足に對して責任はあるかも知れないが、國內の從來からの不自由とどんな矛盾



があらうとも、それ等の言葉に寛容であつてはならぬのである。

勤務隊は過去二年間に尨大な仕事を成し遂げた。即ち食糧、被服、軍需品の供給、千五百三十七隻の艦隊の操作をも含む輸送、二百二十四億ドルに上る給料や手當の處置、七百五十億ドルの契約、米大陸の三千七百の警備宿舍及び屯營の管理、ボストン、ニューヨーク、バンブロンロー、ニューオルレアンス、ロサンゼルス、サンフランシスコ、シヤトル等を中心とする大規模な主要港灣組織の運用、七百三十七萬の人間と、一億百七十五萬容積トンの荷物との取扱、九十八萬三千人の入院患者と七十九萬一千臺の病床を使用した衛生勤務の處理、今や毎月九千萬ドルの取引をしてゐる酒保の監督、娛樂又は教育の機會の設置とその運営、陸軍の一般行政等の外、最後に歸還及び復員といふ大事業等々である。

これ等の問題の處理の最中に、兵士の家族から、彼等を除隊せしめよといふ壓迫が益々強くなつてきた。これが、米國內にあつて、太平洋戰の要求に對する補給、米國內の軍隊の再編成及び再展開、一日數千名に上る復員者の處理といふ三重の任務に忙殺されてゐる機關に勤務してゐる高點者の場合には殊に厄介であつた。兵士の實際に復員する場合、書類、記録、經理等の準備を

して最後の支拂をするまでに要する時日は、第一次大戰には十二日を要したが、今次大戰では二日に短縮された。それでも尙この二日といふ期間を少しでも超過すると抗議の嵐が湧き起つた。この種の反動は米國の常で珍しいことでもないが、たゞ、今の時機にあつては外地部隊の志氣に非常に悪い影響を與へる結果になる。

合同參謀長會議によつて我が世界的作戰に作戰指令を與へる事は、尨大な戰鬥部隊の管理に劣らず複雑な問題であつた。合同參謀長會議に直接隸屬する各種の特別なグループ又は機關にゐる將校が、參謀を助けて作戰計畫の樹立や資材の適正配分につき絶大な努力と明確なる思考を拂はなかつたならば、今や當然の事と思つてゐる我が大勝利は不可能であつたらう。

余は、陸軍省の參謀及び特別幹部が余に與へた援助、それは世界戰爭に關する無數の問題に對する理解の深さと、その卓越せる處理は絶讚に價ひする。余は此處に公式にこれを認めんとするものである。これ等の將校は、自分の仕事認められることも願はず、野戰指揮官たるの好機をも犠牲にして、戰爭努力に對し偉大・無私の貢獻をしたのであつた。然し戰爭の長期化はこれ等の將校を海外に轉出せしめ、同時に歴戰將士を呼び戻して陸軍省に服務させることも出來た。

作戰諸地域の總軍司令官達が各軍に與へた指導をこゝで公開する必要はない。彼等の指揮は、



戦争の行はれた廣大な範圍における戦の障礙と豫期せざる發展とを考慮する時、殆んど錯誤の無いものであつたと余は考へてゐる。これ等の將校達が、米國の名誉と世界一般の最善の利益のために盡した赫々たる貢獻に就て、我が國民は年月を閲すにつれて益々誇りを感じるやうになる事と思ふ。

議員諸氏に對しては、戦争遂行のため陸軍省が要請した巨額の金と必要なる法律的承認を導んで陸軍に附與されたことに對し深甚の謝意を表す。

過去二年間、陸軍大臣は、官吏としては稀に見る勇氣と目的に對する一途な決意とを以て陸軍を支持してきた。

余は、故ルーズヴェルト大統領が余に與へた信頼と、吾々の作戦上の危機に際して示した愛國な決意とに對し、深い尊敬を懐いてゐる。ノルマンディと陸作戦中、彼は事務的に報告される情報以外に質問を發したことは一度もなく、アルダンヌのブルグにおける戦の形勢が危かつた數ヶ月間にも、余若くはアイゼンハワー大將に對して一度も質問を發したことがないことを記録しておくのは、興味ある歴史的事實とならう。ルーズヴェルト大統領が陸軍の運営に寄せた信頼は陸軍省の將校達にとつて絶大なる確信の源となつたのである。

新任總司令官に對しては、歐洲及び太平洋の戦闘を速かに勝利に導かんとする陸軍の努力に寄せられた強力なる支援に負ふところが多いのである。

## 6. 復員

陸軍は、勝利獲得のために集めた老大な兵力を復員させんとしてゐる。これがためには數百萬の軍隊の米國歸還と除隊の處理が必要である。この事は、過去五年間吾々の精力と物資の大部分を吸収してきた軍需品生産の中止を意味する。

復員は、動員と同様國民生活のあらゆる面に影響を及ぼす。故に、その任にある政府の機關が復員を調整する政策を決定するまでは、陸軍省は従來の法律と政策とに依つて進み、円滑にこれが實施を期せねばならぬ。國民經濟の擾亂は最小限に喰止めねばならぬのである。

余は、戦争が終つてから十二ヶ月以内に、陸軍の將兵を少くとも五百萬人除隊させることを希望する。これが解決の鍵は輸送力である。その次には、直ぐ明日からの陸軍の兵力は法律が決定せねばならぬ。

復員は先づドイツの降伏と共に開始された。同時に日本が最後まで戦ふといふ豫想の下に計畫



した最後の太平洋作戦に備へて、最大限の再展開が行はれた。この期間においては、我が船舶に對する第一の優先權は再展開のために、即ち計畫に應ずる人員と資材とを歐洲から直接に或は米國經由で太平洋へ移動させるために提供されねばならなかつた。

日本降伏の日、米陸軍は全世界の米軍に再展開作戦を中止するやう命じた。戦域司令官達には、日本及び極東の地點への占領軍輸送用以外は、すべての便宜を復員のため提供すべき旨の指令が直ちに發せられた。

民間召集兵は、兵員選擇の基礎を、各人の兵役に對する適性如何と、國民經濟上の比較的重要な性といふ點に置いて募集された。故に除隊に際しても、部隊毎にまとめて復員させることなく、個人の事情により除隊させることになつた。除隊を決定する基礎について兵隊の輿論を知るため、陸軍全體にわたつて輿論調査が行はれた。その結果最も長く服役した者、激しい戦闘に數多く參加した者、子供のある者等を最初に歸すべきであるといふ意見が勝を占めた。斯くして勤務地の如何に拘らず點數制による除隊が行はれることゝなつた。

この點數制といふのは、長期の軍隊勤務、海外勤務、勳功、戦闘星章及び十八歳以下の子供三名以内のものに對して得點を與へるのである。點數の計算は一九四〇年六月にさかのぼつて實施

されてゐる。最初除隊點は最低八十五點と定められたが、現在では復員を確實且つ圓滑に實施するため標準除隊點に改正が加へられてゐる。

除隊の資格ある兵を選定することは、各種の海外部隊指揮官の責任であつた。軍人が歸還する時には先づ乗船港附近の處理所へ送られ、その後一群となつて故郷に近い陸軍屯營に移される。此處で彼等は最後の世話を受ける。それから解散部は通常四十八時間以内に彼等を解放せねばならぬ。この最後の手續中において、除隊手當、被服、除隊證明書、折襟のボタン、各人の軍隊に於ける勤務及び資格を要約した解散名簿、故郷までの旅費等が支給される。又復員軍人の權利、恩典、就職の世話をする機關等についての参考パンフレットが渡される。歸還軍人が身の振り方をつけるのに役に立つやうなことは何一つ見落されない。國家に奉仕して健康を損ひ或は傷痕の身となつた軍人に對しては、復員前に、現代醫學の粹を盡した手當が施される。

陸軍省は、現行法律及び政治が許す最大限の復員計畫を樹て、それを實行に移しつゝあるのであつて、次の處置及び目標は軍事的といふより寧ろ政治的なものである。陸軍省としては唯それを勸告し、今後の指示を待つのみである。

現在我が國の政策は吾々に次のことを要請してゐる。即ち歐洲及び太平洋の占領軍の維持、世



界平和のための軍備の整備、世界的不安定の状態下にあつては國家保全を、次いで更に永久的で確固たる基礎を維持すること等である。

この政策實施のためには人的資源を要する。而も、戦時中使用した軍隊の復員を出来るだけ速かに完了することも國家の方針なのである。數十萬の軍人を引續いて本國及び外地の勤務に残すのでなければ、更に恒久的な決議がなされねばならぬ。

陸軍省は、占領軍及び國際保全軍中の米軍定員はなるべく多く志願者により編成することを勸めてゐる。これは、正規軍事編成のため新しい恒久的な基礎を設けることによつて完成される。若し今、この勸告及び余が平和時保全政策樹立のために詳細に論議せんとする事項が議會で採用されるなら、目下臨時に服役してゐる兵士が悉く家庭に歸るまでに復員は滞りなく進捗するだらう。

## 七、共同防衛のために

軍隊がその國民を外敵から守るためには、遠い將來をも考慮して計畫を樹てねばならぬ。茲において余は、再び國際的災害の起る事を防ぐため、軍事的見地から所信を公表する義務と責任とを感ずるのである。

長年の間、人々は個人の安全にのみかかづらつて來た。近代國家は、自ら生活を維持し得ない人々のための社會的保護組織の樹立には相當の研究と努力を續けて來たのであるが、數百萬の人を殺戮し、その家庭を破壊した災害に對する有效な保障は永い間閉却されてゐた。

血みどろな戦争が一つ終る毎に、吾々はかゝる野蠻な行爲に對して激しい反動的衝動を感ずる。而も吾々は何時も戦争の原因と軍備を混同し、殆んど計畫的に次の戦争へと突入するのである。この誤謬は遠い昔にワシントンによつて明らかにされた。彼は最初米國民に、何世紀間も我が保全の合理的保證となるやうな政策を與へることを提案した。彼の指導を拒否した結果は、人命の犠牲と山なす借金の累積であつた。吾々は非實際的であつた。吾々は世界の苦しい現實を無



視して來た。吾々はあまりにも理想主義的であつた。

思ふに吾々は、保障政策は戦争政策であるといふ從來の悲劇的な誤解の矯正から出發せねばならぬ。戦争はこれを價值づけて來て、ドイツ人によつて定義づけられて來た。近代の戦争は彼等によつて始められたものが大部分である。ドイツの軍人哲學者クラウゼウイツは戦争を定義して、「烈しい形式の、特殊な政治的行動」と言つてゐる。プロシヤ王フレデリックは、ドイツに今や祖國を滅亡に導いた好戰的遺産、即ち戦争は自己の意志——これが正邪は問題でない——を押し通す手段であるといふ戦争觀を残した。強力な攻撃的軍事力さへ持つて居れば如何なる政治的論議をも征服出來るといふ意見を彼は持つてゐた。ヒットラーもこの思想を遵奉し、これを實行し殆んど成功するかと思はれた。これは日本の主義でもある。かゝる思想は一種の罪惡である。しかも他の形態の罪惡と同様、人間が社會及び國家の中に群棲し始めてから幾度となく發生して來た。人間が殺人を法律によつて禁じたと全く同じ理由から戦争をも法律的に禁じようとする努力が長年續けられてきた。然し殺人を禁止する法律はそれ自體では殺人防止にならない。それには強制力が伴はなければならない。但しその強制力といふものは嚴密に民主的な基礎の上に立たねばならぬ。一群の陰謀家達の指圖のまゝに動くやうな常設軍があつてはならぬ。市民兵は

かゝる権力の濫用に對する保障である。

戦争防止の國際的組織を確立するため、平和を愛好する世界中の國民は非常な關心を以てダンパートン・オークス、サンフランシスコ等の會議へ代表を送り、實際的な解決策の見出されんことを熱望してゐる。然しながらかゝる防止策が発見されるまでは、歴史にも示す通り、戦争が終了した後も兵器を伏せてゐる強國が再び戦争を挑發するであらう。複雑な、恐るべき破壊的器具の存在は今や利用價值があるが、必ずやこの不安を眞實ならしめるものと考へる。ヒットラーが自分の意志を世界の前に實現せんとして公然と軍隊を動かした時、自己防衛の能力と教育に關する限り、大民主主義國家は何れも病氣にかゝつてゐた。アメリカも亦他と異なる所がなかつた。野戦部隊は全然なかつた。米國全體に小さく分けて配置された骨幹だけの軍隊が僅かに三個師團半あつたにすぎなかつた。これ等少數の戰團部隊さへも師團としての訓練を實施することは出来なかつた。自動車輜その他の便宜が無く、所要の演習費用さへ思ふやうにならなかつたのである。空軍としては米大陸、パナマ、ハワイ、フィリッピン等に活動してゐる少數の、不完全な航空機があるのみであつた。その飛行機も大半は舊式で、現代航空戰には一日も耐へ得られぬもので



あつた。吾々は近代的武器と裝備を缺いてゐた。一九三九年九月八日、ルーズヴェルト大統領が「米國は或る危機に遭遇しつゝある」と言明した當時は、有效兵力においては三等國以下であつた。米國の大學生の中には、「米國の青年は國家のために戦ふことを肯じないであらう」といふことを世界に報道し、明らかに日本人をして斯く信ぜしめるやうな言動を採る者があつた。

吾々が「戦争は起り得ない」と信じて戦争を避けようとしてゐた丁度その時、獨軍は歐洲を一掃してしまつた。我アメリカ合衆國の保全は僅かに海上の距離、聯合諸國及び敵の誤算によつて保持されたのである。今次大戰において海上の距離が吾々の防禦の重要な要因となつたといふ事は戦史上恐らく最後の事であらう。吾々は再び他國に頼るのも、強力な敵國の氣まぐれや錯誤を當てにするのもよからう。然しそれは我國の富と自由とを紙袋に入れて運ぶのも同然である。

前大戰の後フランスから歸つた余は、パーシング將軍と共に國民に對し、健全な防衛政策を樹ててこれを維持すべき事を説いた。吾々の勸告が容れられてゐたら、國民は、再び平和を回復するために費した我が數千億の金と百萬に餘る死傷者とを救ひ得たであらう。現在の世界的な悲劇さへも無くて済んだかも知れない。然るにパーシング將軍は、どの國に對して備へるのかと反問された。この質問に對して適確な返答を與へることは、二十年後、アドルフ・ヒトラーが敗戦

ドイツの再建軍を率ゐて再び世界を鬭争の渦中に引き入れるまでは不可能であつた。一九四〇年になつても余は議會の委員會で同様の質問を何度も浴びせられた。その時と雖も、何處で戦はねばならぬかを正確に答へることは難しかつた。過去の戦争において米軍がラテン・アメリカ、フランス、ベルギー、ドイツ、ロシア、シベリヤ、アフリカ、フォリツピン、支那等で戦つたことは想起したが、近い將來に米國の將兵が、ビルマの真中で、或は廣大な太平洋の島々で戦ひ、又地球上の全大陸、全海洋を連ねて守備することがあらうとは豫想しなかつた。今回の教訓により吾々は、或る國家若くは合同した數ヶ國が、政治的な論争や、資源や領土を武力で獲得する力を充分持つてゐると感じられるやうな場合は我國の利益擁護のため、軍備を整へて置かねばならぬといふ考へに變りはないのである。

最近の歴史で、米國の工場と農場と國民とは、二度侵略國を挫折せしめた。平和の裏切者はこの次こそは吾々を失敗せしめんとするであらう。

一九一四年にも、更に又一九三九年にも、英、佛、ソ、ポーランドその他の歐洲諸國が米國とドイツの間に立つた。然しその頃は現在のやうに破壊の技術が進歩してゐなかつたため、これ等



の諸國は抹殺されねばならなかつたし、又我工場が敵砲彈の着弾範圍に入るまでは大西洋は船で渡りねばならなかつた。歐洲の對獨戰の末期には、これらの工場は正にヨーロッパの獨軍火力の射程距離外廓に位置してゐた、ゲーリングは捕へられた後、『もしドイツがもう二年間敗れずにあつたら、米國東部の都市はロケット砲の射撃を受けてゐたであらう』と語つた。實際には二年は經たずともロケット攻撃は開始されてゐたであらう。戦争技術の進歩は米國とその家庭と工場とを戦争の第一線に引出したのである。彼等は第二次世界大戰では破壊的攻撃を免れたが、第三次の大戦ではさうは行かぬだらう。

吾々が嘗て半球防禦を以て我が國の保全のための満足すべき基礎であるとしたのは最早妥當ではない。今や吾々は全世界の平和と關はるやうになつたのである。そして平和は唯強者によつてのみ保たれるのである。

然らば我が國が強國として存続し、而も尙職業軍隊——假令兵員補充は出来るにしても——を維持する老大な軍隊費のために破産しないやうにするにはどうすればよいか。ワシントンは大統領の時合衆國憲法により召集される最初の議會に對する勸告の中で、この質問に答へた。彼は平和時における市民の軍事訓練を提唱した。當時、大規模な正規軍を設けることは國民の自由を脅

す危険があると考へられたのであつた。これは今日においても眞である。然しこの問題解決の重要な鍵は、必然的に軍隊の維持とこれに要する歳費の關係に落着く。如何なる制度も、假令それが近い將來に採用されるものであるにせよ、その費用が多額に上るときは之れを削減せんとする政治的壓迫を免れない。況して費用のかゝる職業軍隊に於てをやである。

大規模な常設職業軍隊にはもう一つの不利がある。二十世紀の戦争は各國の經濟、科學、人的資源の總力を以て戦はれる。あらゆる専門分野における人智が動員される。現代戰においては國民の各個人が優れた手腕と知識とを持つてゐることが必要なのである。

國民のすべてが常に軍服に身を固めて敵の侵入を撃退すべく身構へてゐることは明かに不可能である。平和時には、國家の精力は、すべて生産的にして利益のある仕事に注ぎ込まねばならぬ。然し今後は、アメリカ人は總て祖國のために平和維持につとめ、平和が破れ、再び戦争といふ不幸が起る事があれば、この悲劇的時機に反抗して起つだけの準備が彼等自身で出来る筈である。これは一般的軍事訓練を意味するのである。これは人々を實際上戦闘部隊に編入する一般兵役ではない。斯る部隊は平時に志願者によつて編成するのである。訓練を受ける者は訓練だけの



ために出来てゐる別の組織に收容される。訓練を受け終つた者は最早や軍隊とは關係が無くなる。但し本人の希望があれば、現在と同様、國民軍編成豫備軍に入り、或は小規模な職業軍隊に入隊を志願することも出来る。斯くして、國家に一旦緩急ある場合は優先權の順に、或は議會がその時指示する條件に従つて、地方委員を通じて従來と同様に召集される。

一般的軍事訓練の概念は、或る人も信じてゐるやうに、大陸軍主義の上に基礎づけられてゐるものではない。陸軍は現代の進歩に直面して尙も頑固にこの主義を固執してゐるといふ攻撃を受けて來た。これは今次大戰の動員報告が示してゐるやうに、これ程事實から遠いものはないと余は考へてゐる。既に本報告中において、米國の工業力を利用するため人的資源の配置に如何に苦心したかを説明した。軍の動員總數千四百萬人中、陸軍及び海兵隊の歩兵部隊總兵力は百五十萬人にも達しなかつた。爾餘の海、空、地上軍は主として機械戰に従つた。軍需工業に従事した者を計算すると戰爭遂行に直接参加した者は恐らく七千五百萬から八千萬であつた。全努力の九八%を科學戰に捧げたのである。

斯くも素晴らしい成功を齎したこの方式を放棄することを提案してゐるのではない。宇宙の基本的力の利用は、我がアメリカ合衆國を守るため頭腦を使用する吾々の努力に一層拍車をかける

であらう。

然しながら、工業科學は戰爭に於いて人力を不必要とするものではない。軍隊中最も高度に科學的發展を遂げてゐた空軍も、その任務遂行のためには數百萬の人力を必要とした。日本を攻撃したB29は直接戰闘地區のみでも一機につき十二名の將校と兵七十三名の努力に左右された。

廣島に對する原子爆彈の輸送に要した人員は莫大なものであつた。先づ吾々は飛行機を飛び立たせるためマリアナに基地を求める必要があつた。これがためには廣大な太平洋の横斷の準備行動、數千隻の船舶、數百萬噸の軍需品及び數十萬の將兵の英雄的な努力を要した。更に日本上空を制壓したB29及びその護衛戰闘機が必要であつた。何れも米國內での數千時間の訓練と準備の結果であり、數百萬人が精力結集の賜物であつた。

工業科學の軍事組織に及ぼす影響は、その國民經濟に及ぼす影響と同一である。自動車が馬と交替して數百萬の米人に仕事を與へたと同様、原子爆彈を戰爭に使用せざるを得ぬやうなことが生ずると、數百萬人一勞務が必要となるであらう。

今次大戰は、國家の保全が、武装せる敵の挑戰を受ける時には軍事的適齡層にある健全な男子



市民全部の服役を要求することを明らかにした。

戦争の場合、國家は兵役志願者の數、又は平和時の保障のみに頼ることは出来ない。再び國家的非常事態に遭遇するとも、青年層の大部分が軍事訓練を終了してゐるか、或は現に受けつゝあるならば、それは平和時の海軍、正規軍、國民防衛軍及び編成豫備軍を直ちに充實することが出来る。その結果、我軍は、何時でも直に最初の敵對行爲に對抗し、又敵が我國の工業や家庭に對し破壊的攻撃を開始する基地の獲得を防止する用意がある。この方法によつて、吾々は次の時代のため我國の軍事政策を樹てたいのである。即ちそれは

(一) 全く我が平時經濟の財政的能力の範圍内にあつて、その性格は民主主義的であること。

(二) 米國の龐大な資源、富及び生産と結びついたこの龐大なる力は直ちに利用可能なることを軍事的社會と政治社會に識らしめること。

等である。それ故に、文明の進行それ自體が不斷に脅かされてゐる悩み多き世界において次々に災害を重ねるよりは、少くとも平和と人間相互の厚意の蓋然性を造り出さうとする米國の意見を全世界の國民は必ずや尊重するであらう。

此の問題の決定如何は重大な結果を招來するものであるから、余は全く率直に所信を述べる。

一般的軍事訓練に對する反對の多くは、底意があつてやつてゐるのか、若くは吾々が將來において避けようとしてゐる過去及び現在の悲劇を全く無視しようとしてゐるかの何れかである。これ等の人々は生活の自由に對する束縛を不當に重大視してゐるやうに思はれるが、その束縛たるや吾々が回避しようとしてゐる悲劇や次の時代の人々のために確保せんと希つてゐる大なる祝福に較ぶれば極めて微々たるものに過ぎぬのである。

一般的軍事訓練問題の決定は緊急を要する。平和會議以前にこの問題を決定することは、國際的紛争を處理する純正機關の受諾を獲得する場合に大いに米國を強化するだらう、といふ強い意見を國務省の官吏は持つてゐた。最後の平和取極の條文では、米國陸海空軍の正規又は恒久的戦後兵力決定の基礎が定められるであらうが、それは一般的軍事訓練制度の必要性を變更することは出来ぬと考へる。

恒久的な兵力の規模を測定する標準は、最小限の物と人と維持費を以て最大限の安全を確保することである。陸軍省の計畫者達は、あらゆる事項を考慮に入れて今後十年間の世界情勢を豫想した結果、米國に非常事態を招來するやうな國際的危機が発生して一年以内に、四百萬人の陸軍を動員し得る機構を確立したならば、我國の地位は先づ安全であらうと信じてゐる。



正規軍は戦略部隊を主力とし、空軍に重點を置き、一部は太平洋及びカリブ海に展開して敵の奇襲に備へ、必要あれば何時でも非常行動に移れるやうにして置く。將來の戦争は電撃的な奇襲によつて始められるであらう。攻撃はロケット兵器に依り驚異的な速度で進められ、強力な軍隊がこれに隣接して先制的な、際どい利を収めようとするであらう。吾々は斯かる脅威に對し兵力を速かに動員してしまふまでは敵を遠くに離しておくやうに充分に備えておかねばならぬ。正規軍と國民防衛軍はこの危機に對應するやうに準備されねばならぬ。

正規軍のもう一つの任務は遠隔基地の守備軍を準備することである。緒戦において吾々は忽ちにフィリッピン、グワム、ウエーキ等を喪失し、これを回復するため令尙人命と資材とを失ひつゝある。

正規軍の第三の任務は、將來吾々が直面するかも知れぬ國家的非常事態に對し、最新の機構と計畫とを保持しておく上級司令部を準備することである。この上級司令部に包括されるものは、陸軍省、陸軍大學、諸兵學校及び米大陸を細分して地方分權的指令と平時軍事機權の協力を容易ならしめるやうにしてある各軍管區の司令部等である。これが今次大戰の前夜、吾々の持つてゐた全部であつた。企畫者と少數の人員は實際問題に携はることは殆んどないが、動亂の中で召

集された多數の戦時要員の使用法につき健全なる考へを持つてゐた。然し若し英國とソ聯とが吾々の味方にならなかつたら、これ等の計畫や考へも殆んど役には立たなかつたであらう。

第四番目の、而も恐らく最も重要な正規軍の任務は、知識と、専門家と、將來世界の平和を大いに左右する市民兵の訓練設備を準備することである。市民軍の中では國民防衛軍が最も重要である。國民軍は健全で強力であらねばならぬ。非常の際には、最初の數週間は國防の第一線に立つ用意があり、又一年以内の訓練で老練なる敵に對抗し得るやうになつてゐなければならぬ。然るに平時の状態では、國民軍が任務上絶対に要請される基礎訓練を、それ自體の中で與へる事は困難である。茲において余は、一九〇七年から一九四一年までの長期の、且つ馴染み深い國民防衛軍の經驗に徴して考へるに、近代的條件の下に斯かる組織に對する基本的要求は一般的國民軍事訓練であり、その中から國民防衛軍への志願者を出すことであると信ずる。斯くの如き鞏固な基礎なくしては、戦後に必要な充分信頼に値する軍隊は維持し得ないと確信する。

市民軍の第二の重要要素は編成豫備軍である。これを通じて戦争の基礎をなす國家資源の總動員が完成するのである。今次大戰の勃發當時は、豫備軍は殆んど將校團のみであつて、聯隊、師團部隊は動員のための實際的基礎を持つてゐなかつた。故にこの編成豫備軍の效果は主として個人



的なものであつたが、しかもそれは廣範圍に及び且つ非常に重要なものであつた。將校の減少した正規軍は豫備軍將校によつて補充され、新設された多くの幹部や制度は主として豫備軍の將校からなつてゐた。選抜兵制により採用された兵士の大訓練所も最初は豫備軍將校の力を利用した。現米陸軍が中堅的小部隊指揮官達を育成してゐる士官候補生の學校も豫備軍將校が教職員となつてゐる。これ等の將校の大部分は第一次世界大戰の古強者で、豫備軍將校教育隊の卒業生であつた。然し残念なことには豫算が餘りにも少つたため、教育は三年乃至四年に一度の短期間に限られ、且つ部隊数が少いところから豫備軍將校の受けた限られた訓練は、實戰には殆んど關係のないものであつた。

豫備軍將校が指揮と參謀的任務に實際的の經驗を持つことの出來たやうな斯かる部隊の人員不足は最も重大な掣肘であつた。豫備軍には兵隊が無かつたのである。豫備軍將校團と國民軍——兵を有す——との間には殆んど連絡も理解もなかつたし、正規軍も兵員が不足のため正規兵を使用して豫備軍將校の充實訓練に當てることが出來なかつた。殊に人口の稠密な中心地區では正規軍が殆んどなかつた。而も斯かる地區には豫備軍將校が最も多かつた。又假令正規軍が駐屯して

ある地區へ豫備軍將校を輸送する基金があつたにせよ、僅かな正規兵では多數の豫備軍將校の洪水に完全に足りなくなつたことであらう。例へば、一九三八年における豫備軍將校團員數は米大陸にある正規軍戰團部隊の二倍以上に達してゐたのである。

一般的軍事訓練によつてのみ豫備軍制に活力と生命とを吹き込むことが出来る。それ充分に訓練された將兵のプールを創り出し、その中から國民軍又は編成豫備軍への志願者が生れるのである。斯くして國民防衛軍及び豫備軍の諸部隊は兵團又は軍團の演習に参加する機會を得る。この演習は戰勝のための重要な準備である。斯かる訓練された將兵もなく、又斯くの如く實戰的演習に参加して技術を練磨する機會も與へられなくては、正規軍も國民防衛軍も、將又豫備軍もその重大使命を立派に遂行することは望み難い。

豫備軍將校團の卒業者は全戰時將校の十二%を占めてゐたが、その最も貴重な貢獻は彼等の働きが直ちに利用出来ることであつた。吾々が動員と訓練の初期に爲し遂げることの出來た事柄も、彼等がなかつたならば、どのやうなことになつてゐたか分らない。恐らく吾々の計畫は大に齟齬し、ために歐洲の戰局は更に長引いてゐたことであらう。吾々はこの豫備軍將校團組織を擴大強化せねばならぬ。それは豫備軍將校團の青年が受けてゐる大學教育の専門的水準と比較し



得る高度なものゝ上に築かれねばならぬ。この事は學生が一般的軍事訓練に参加して居れば容易に出来ることであり、同時にその年限を一ヶ年短縮することも可能である。彼は三年の過程を二年半で終へて先輩と同様に豫備役將校團に入ることになるだらう。彼は小學校及び中學校の軍事訓練と同量の基礎訓練の後、有望な兵卒の指揮官としての訓練を受けるため大學教育を與へられるであらう。斯くして、豫備役將校教育團の任務は、特異な性格を持つた將校團を國民防衛軍や編成豫備軍に供給するのである。

市民軍を基礎とする國防計畫の成功には一ヶ年間を通じて訓練することが大切である。吾々が現在比較的短期間に行つてゐると同様な訓練を、兵各個に施して歴戰の師團や航空部隊の交替要員を養成することは可能である。部隊それ自體の訓練はどうしても一ヶ年以内では完成出来ない。航空部隊の場合は更に長期を要する。これは丁度フットボール・チームの練習と同じである。ハーフバックはボールを持つて走る要領をすぐ呑みこむが、味方の十人とうまく協力しながら、相手チームの間を縫つてボールを運べるやうになるには相當の時間をかけて練習をせねばならぬ。師團や航空聯隊の場合も同じであつて、各個人が小銃や機關銃の操作を敏速に覺えても、師團内の一萬四千人以上の戦友と協同しつゝ射撃出来るやうになるには、長い期間演習を重ね、

ばならぬ。

他日國家のために戦ふことになるかも知れぬ男子は悉くこの部隊教練を受くべきである。現在我が優秀な師團の老練兵達はやがては軍事適齡を過ぎてしまふであらう。情況は今次大戦のために吾々が動員を開始した時のそれと同様であらう。師團を海外に向け輸送出来るまでにするには、全兵士は最小限度一ヶ年間の部隊訓練を必要とした。

米國の訓練計畫は米兵を今次大戦において最も優秀な戦闘員に仕立てた標準に従つてゐる。又常に技術的進歩とこれに伴ふ戰術の修正とが併行しなければならぬ。

訓練の全期間を通じて熱心な教育計畫が樹てられねばならぬが、この任務を平穩に實施して行くことは、現在の戰時的重壓の下に於ては不可能であらう。競技、娛樂施設、短い週末旅行、クリスマスその他の休暇等は勿論必要である。然しながら若し政府が所要資金の使用を承認されるならば、活潑な計畫を強行すべきである。さもなければ、吾々は世界の國民の尊敬を得ることに失敗するやうなハーフバック（蹴球の中衛）を作り出し、全組織の第一の目的を否定することになるであらう。



陸軍が青年を軍國主義化し彼等を危険思想に導くことを危惧する人々及び陸軍がこの任務を果し得るや否やを疑ふ人々に對して、余は現在の米軍に關する證據を提示するものである。彼等は一流の敵をも敗北せしむるに充分に訓練されてゐる。然し彼等の心は歪められてゐない。否全くその反對である。米國民は慥かに我軍が事實、民主主義的の軍隊であることに満足してゐる。彼等は又我が陸軍の兵士達は、他の場合よりも遙かに立派な身體になつて居るし、熱帯のジャングル地方に勤務してゐる者を除けば兵士達の一般的健康は家庭に在つた時よりも良好であることを知つてゐる。我が軍隊を訓練した將校の多くは市民兵出身であつた。彼等は正規軍將校となる先鞭をつけたのであるが、職業軍人は全將校團の二%に過ぎなかつた。これより稍々多數の將校が國民防衛軍の將校であつた。將校の二十五%は豫備役將校團出身であり、十二%は職業上の特殊技能を持つてゐるため民間人から直接任官させられた者であつた。將校の大多數は下士官から累進した者で、全將校の五十九%を占めてゐた。この事實は軍隊の民主主義を保證するものであつた。

一般的軍事訓練の實施は民主主義に對する壓迫であると考へる人々に對しては、余はこれこそ我が國民生活の最も民主主義的な表現であると答へたい。この問題を判斷するに當つて、余は我

が初代大統領の提案を證據として示さう。

ワシントン大統領の計畫は、十七歳に達した總ての男子に軍事訓練を授けることを規定してゐる。市民軍は三種類に分けられ、十七歳から二十一歳までを前進部隊、二十一歳から四十六歳までを主力部隊、四十六歳から六十一歳までを豫備部隊としてゐる。平時の訓練は總て前進部隊にのみ集中せられた。従つて明らかに主力部隊、豫備部隊はこの訓練計畫を終了した者であつたに違ひない。この議案は第一回議會の第三會期に提出され、一七九二年三月五日下午院で審議されたが、それが法律化された時には、ワシントンの提唱した要素は全く失はれてゐた。最後に採決の時には、あまりにも骨抜きにされてゐたので、該案説明議員自らがその通過に反對投票を行つた程であつた。

若しこの案がそのまま議會の承認を得てゐたなら、米國の短い歴史を彩る戦争も多くは起らずに済んだことであらう。米國は何時でも計算に入れておかすべき國民である事を世界の戦争屋共が認識してゐたなら、一八〇〇年初期の米國における水兵の徴集も罪の無い暇つぶしと考へられたり、カイゼルも一九一四年のフランツ・フェルデナンド太公の死の復讐を世界大戰によつて實



現しようなど、さう簡単に決心もすまいし、アドルフ・ヒトラーも亦、あれ程急速に平和を破壊しはしなかつたであらう。

平和時の軍隊は、有力な戦時軍隊の即時動員準備のみならず、戦争勃發に際し、最初の數ヶ月間に使用すべき兵器及び總力戦に要する軍需資材の尨大なる追加量を生産すべき明確な計畫等を用意しておかねばならぬ。砲彈の缺乏、有効銃砲の不足、重要兵器の大量生産手段の缺如等のため重大な國家的危機に陥るやうな事が二度とあつてはならぬ。

人類の科學的進歩を伴ふ軍事部門に關する不斷の研究の必要性は何人も認めてゐる所であるから、平時にこの目的のために必要經費を得ることは、それ程困難であつてはならない。然しながら武器の改良のために國費を費すことは常に歓迎されず、殊にその生産が平時には何等利用價值なき場合は尙更である。

軍用航空機の發達は、民間航空技術の進歩と密接な關係がある。吾々が現在使用してゐる輸送機及び間もなく現はれんとしてゐる輸送機の多くは、もと／＼爆撃機であつた。米國が世界最大の空軍を建設するに與つて力のあつた航空技術上の原理は、多くは商業上の發達から成長したものであり、今次大戰勃發時における我が生産方法の成功の一部は平時の商業的企業の結果なので

ある。然し重要兵器は大抵商業とは關係が無いため、これ等の武器は平時の進歩が非常に遅れてゐた。對空兵器はその好例である。今日高能率の對空兵器は戦争勃發後相當の期間を経るまで完成しなかつた。平時における斯かる活動に對する必要經費の使用の失敗は、當然時と人命と金の犠牲を尨大にしたのである。

科學的研究の面で若干怠つてゐたと思はれるものに、もう一つ、軍需資材の迅速なる、大量生産手段の發展がある。戦争勃發に當つて、吾々の資源動員能力の速度、軍需資材の貯藏量及び價格等は、この生産手段により決定されるのであるから、これは頗る重大な問題である。この線に沿つた慎重な考へと計畫は數百萬弗の税金を免除させるものである。

若し將來戦争が起るとしたならば、それは今次の大戰よりも一層總力戰的なものであることは確かである。その戦争の性格は斯くの通りであるから、一旦開戦となば、今次の終末と同様に唯敗北者の破滅のみに終るものであり、更に再度の平和産業から戦時生産への轉換は、敵の長距離砲爆撃下で行はれるものと考へねばならぬ。工業動員計畫はこれ等の豫想を基礎とし、斯かる豫想及び發展の可能性ある他の状態に即應し得るやう編成されねばならぬ。而もそれ等の計畫は平和産業の進行を少しでも妨害したり、抑制したりすることがあつてはならぬのである。



若し我が國民が、偉大なる國民として残らんとするならば、現在も將又將來においても、戰爭は平和を熱望する國民の撰ぶべきものではない、といふことに留意せねばならぬ。戰爭は、政治的利益のために暴力に訴へんとする人々の選擇物である。これまで概説して來た手段によつて、吾々は災害に對し自らを護ることが出來ると余は信じてゐる。斯かる防禦手段を備へてこそ、吾々は初めて最上なるものへの正しい希望を以て、又最悪なるものが襲つて來ようとも吾々はこれに對して備へがあるといふ靜かな信念を以て將來に臨むことが出來るのである。

終りに、ワシントン大統領が一七九三年十二月三日、議會に對して發したメッセーヂを掲げる。

余は、吾々自身を完全な防禦態勢の中に置き、同時に世界の他の國々にも吾々に對し同様な義務の履行を要求する必要を一度諸君に促してからでない、他國に對する我國の義務の履行に關する方法を諸君の前に提示することは出來ない。合衆國は、人類の努力の命ずるところと反對に、人々は、各國民の歴史に満ち満ちてゐる武器に對する、これらの痛ましき泣訴を永久に遠くに押しやつておくであらうといつた勸告を許してはならない。米國は列國の間に合衆國に相應しい地位を占めてゐるが、それは弱いといふ評判をとると、假令全部を失はずとも、壓へつけられてしまふであらう。若し侮辱を避けんとするならばこれ

を撃退する用意がなければならぬ。勃興しつゝある繁榮の最も有力な原理の一つたる平和を確保せんと欲するならば、吾々は何時たりとも戦ひ得る用意のあることを知らねばならぬ。

一九四五年九月一日

米國首府管區ワシントンにて

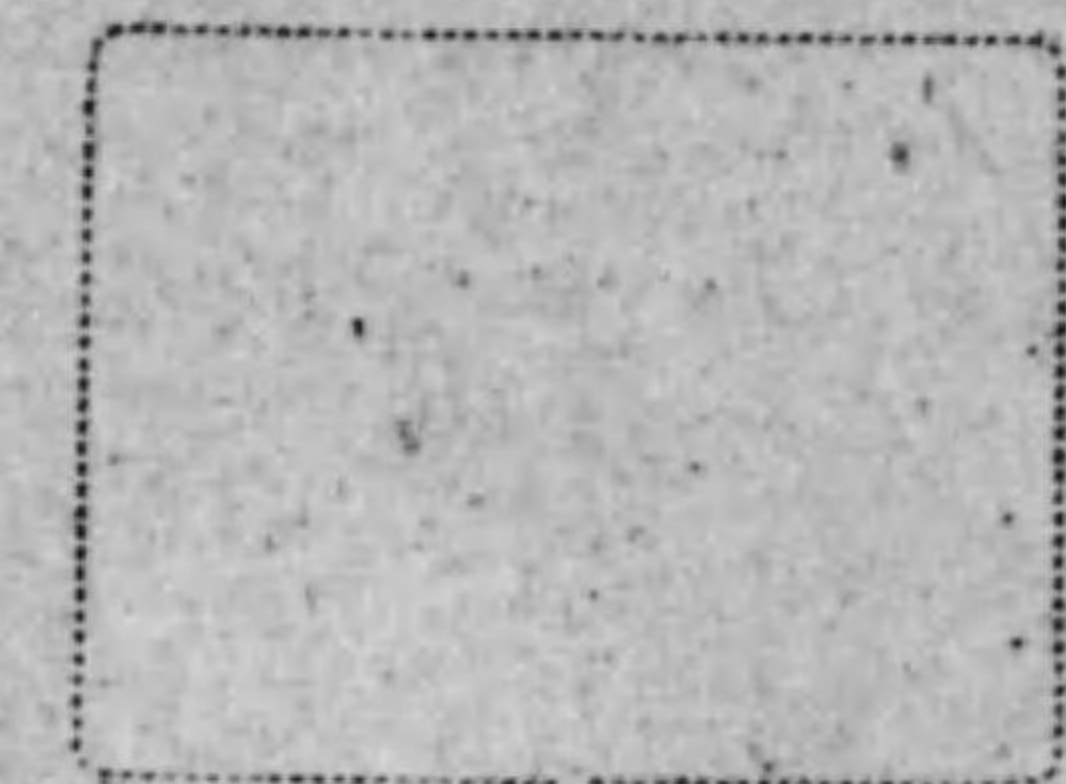
參謀總長 ジョージ・マーシャル





293.2  
A44  
20

昭和二十一年八月十日印刷  
昭和二十一年八月十日發行



(會員番號 A213010)

### 勝利の記録

定價 拾五圓

譯者

マン・ニチ社出版部

發行者

東京都赤坂區青山南町三丁目六十一番地  
伊藤 實一

印刷者

東京都京橋區築地一丁目十四番地  
一 乘道 明

印刷所

東京都京橋區築地一丁目十四番地  
日本交通印刷株式會社

發行所

東京都赤坂區青山南町三丁目六十一番地  
マン・ニチ社出版部  
振替東京一八一五二五番

配給元

東京都神田區淺路町二丁目九番地  
日本出版配給株式會社

昭和二十一年八月十日

年 月 日

76





H262-63



¥ 15.00

マンニチ社出版部 發行